ジオグラフィカの教科書

インストール









■対応機種

Android8.0以上、iOS15.0以上 GPS、電子コンパス搭載が必須、タブレット対応 インストールは無料。アプリ内課金あり(2025/3/18現在 1,900円)

■出来ること

- 画面に表示した地図は自動で保存されるため、携帯圏外でも使えます。
- 山奥でも現在地がわかります。スマホのGPSは携帯圏外でも使えます。
- どこを歩いたか記録できます(トラック)。
- 地点を登録することが出来ます(マーカー)。
- 目的地を目指す機能など、様々なナビゲーション機能があります。
- クラウド機能で情報共有が出来ます(要ログイン)。

ジオグラフィカは山岳ナビゲーションをサポートする目的で作られた登山用の地図アプリで す。地図を保存して山奥で表示する、地点を登録して現在地からその地点までの距離、標 高差、時間などを簡単に知るなど様々な機能があります。どう使うかは自由です。自由度 の高いアプリとして設計しています。このドキュメントは、まず概要を説明して徐々に詳細な 説明になっていきます。

はじめに

ジオグラフィカは、パッと見ではそんなに多くの機能があるように見えません。人によっては 「シンプルなアプリ」と評価します。その実、見えにくい場所に多くの機能が隠れていて、分 かる人だけが高度な使い方をできるようになっています。意図してその様に作っています。

この「ジオグラフィカの教科書」では、初歩的な使い方からあまり使われていないだろう機 能や設定など、今まであまりドキュメントとして公開してこなかった情報をすべてまとめまし た。隅々まで読むと「こんな事も出来たのか」と驚くかも知れません。

すべての機能を使いこなす必要はまったくありませんし、すべての機能を使えないからと いって悲観することもありません。機能は用意しましたが、それらをどう使うかは皆さんの 自由です。ただ現在地を確認するだけでもいいですし、トラックを記録するだけでもいい。ジ オグラフィカクラウドまで使って、とことん使いこなしてもいいのです。それらの使い方は、違 いがあるだけで優劣はありません。

機能と情報をここで全て公開します。自由に使ってください。

はじめに	1
■田钰經設	1
	4
	5
■山行前の準備	9
地図をキャッシュする	9
表示キャッシュ	9
ー括キャッシュ	10
マーカーを登録する	13
■登山中のジオグラフィカの使い方	16
現在地を表示させる	16
トラックを記録する	16
マーカーを使ったナビゲーション	19
ルート案内	21
■登山後 トラックの活用方法	25
■様々な長押しメニュー	29
地図上のトラックを長押し	29
地図上のマーカーを長押し	32
メニューボタンを長押し	34
センターマークを長押し	36
コラム ジオグラフィカの歴史	37
■各種ファイルの操作	39
共通のファイル操作	39
ファイル→トラック	41
ファイル→マーカー	47
ファイル→ルート	50

ファイル→カスタムマップ	53
ファイル→一括キャッシュ	55
ファイル→図形	57
ファイル→写真	58
ファイル→バックアップとデータの移行	59
■各種ファイルのインポート操作	60
インポートの操作	60
ファイルの種類判別	60
コラム 補足リンク集	61
■設定	62
機能制限解除	76
■ツールメニュー	78
■地図メニュー/オーバーレイメニュー	80
カスタムタイル	83
■ジオグラフィカクラウド	86
クラウド機能を使うための準備(ユーザー登録とログイン)	86
個人ストレージ	91
グループ	104
グループデータリンク	114
■その他の情報	127
登山にスマホを使うときの注意点	127
測位精度が悪いときの対処法	128
よくある質問と回答	130
あとがき	136

キャッシュ

アプリ内に保存された地図データ及び、地図データを保存する行為。ジオグラフィカは画面 に地図を表示することで地図をアプリ内にキャッシュする。範囲指定して地図をキャッシュ する『一括キャッシュ』もある。キャッシュデータは自動で使用されるためユーザーが表示/ 非表示などを気にすることは無い。

マーカー

地点、POI、ウェイポイント、チェックポイントのことをジオグラフィカではマーカーと呼ぶ。任意の場所にマーカーを作ることが出来る。マーカーを使ったナビゲーションをするのがジオグラフィカの基本。

トラック

軌跡、トラック、GPSログ。道に沿った細かい線。既存のトラックを読み込んで表示したり、 自分が歩いた軌跡をトラックとして保存することが出来る。共通のファイル形式としてGPX 、KMLがあり、外部に送るときはそれらの形式が使われる。

ルート

マーカーをつなげた粗い線で、山岳ナビゲーションを自動化する目的の機能。ルート内に は複数のマーカーが存在し、目指しているマーカーに到着すると自動で次のマーカーが目 的地として設定される。行動中は目指しているマーカーまでの距離、高度差、到着予想時 刻などが音声で案内される。

ジオグラフィカクラウド

ユーザー登録をして、ジオグラフィカクラウドにログインすることで使える機能。様々な情報 の共有をジオグラフィカ内で行うことが出来る。

■メイン画面(地図画面)の使い方

現在の高度(±5m) 座標/ 座標バナー 1.422m 139 画面上部に現在地の高度、座標、コンパス、速度が表示 されます。コンパスは磁北偏差補正済みで真北を指しま 画面クリア 至山 す。文字の色は座標精度と連動していて、青は高精度(半 **GP** 径30m以下)、オレンジは低精度(半径200m以下)、赤は 現在地表示 非常に低精度(201m以上)です。 カー追加 座標バナーを長押し トラックログ 現在地の情報をメールやSNSなどで送れます。家族への ルートー覧 生存確認などに使えます。 グルーフ 座標バナーをスライド 真撮影 検索窓が出てきて山名や住所で検索できます。山名で探 情報バラ せない場合は地域の名前や近くの有名な山で検索してく 現在地送信残り 300回 撮影:0/24枚 RCZ Z:16.0 高度:1,466m 35° 30' 29.34" N 139° 04' 05.25" E 国土地理院 20.20 アプリバージョン ださい。

ナビゲーションバナー タップすると現在目指しているマーカーが画面中央に表示されます マーカーをロックオンするか、ルート案内を動かした時に表示されます。目指しているマー カー(地点)までの距離、高度差、到着予想時刻が表示されます。

ーセンターマーク

画面中央の+をセンターマークと呼びます。センターマークの座標と高度は画面下の情報 バナーに表示されています。

センターマークを長押し

メニューが表示され、中央座標の共有やGoogleマップでの表示、ストリートビューの表示な どが出来ます。



赤い矢印は自分の位置です。向きはスマホの電子コンパスと連動しており、磁北偏差は補 正されています。向きがおかしい場合は、スマホケースにマグネットが使われていないか確 認してください。マグネットが使われていなくても北からズレている場合は、スマホを8の字 に動かして校正してください。自動車や電車の中、屋内ではズレ続けることがあります。磁 気の影響が無い屋外で使用してください。



左上のメニューボタンを押すとメニューが開きます。ジオグラフィカの各種機能はここから開 くことが出来ます。

メニューボタン長押し

長押しすると状況に応じた機能が出てきます。操作に困ったらメニューボタンを長押ししてください。





↑メニューボタンを押した

↑メニューボタンを長押し



ボタンや座標バナーを消します。2回押すと元に戻ります。地図を広く見たい時に使いま す。座標バナーに表示されている経緯度は現在地のものです。家などでスクショを撮ると、 その場所の経緯度が表示されてしまうので、ネットに載せるときはクリアボタンで座標バ ナーを非表示にするとよいでしょう。

GPS

GPSが稼働中は緑になります。緑色の状態でもう1回押すとコンパスマーク になっます。 この状態だと地図が回るヘディングアップモードになります。通常はもう1回押して矢印マー クにして、北が上のノースアップモードで使ってください。



押すと現在地が画面中央に表示されます。

現在地ボタン長押し

長押しすると緑になり、現在地が画面の中央に固定されます。もう一度押すと黄色になり、自由 にスクロール出来ます。通常は黄色で使ってください。

センターマークの位置にマーカーを追加します。山頂や分岐、小屋などを登録するとナビ ゲーションの際に便利です。詳細はP12

うううつつ(軌跡の記録)

トラック(GPSログ)の記録を開始します。記録中は緑になります。緑の時に押すとコント ロールパネルが表示されます。コントロールパネル左下の停止ボタン を押すと 停止できます。下山後に止め忘れると電車やバスの移動分までログに残ってしまいます。 忘れず止めてください。詳細はP15



ルートー覧のショートカットです。『マーカー』をつなげたものが『ルート』で、各マーカーに着 くと自動で次のマーカーを目指し、距離や高度差などを案内してくれます。『ルート案内機 能』です。詳細はP20

パンプレープクラウド

ジオグラフィカクラウドにログインしていると表示されます。このボタンを押すと、所属するグ ループの一覧が表示されます。グループを選ぶことでグループデータリンクを開始できま す。データリンク中はメッセージ、位置情報、マーカーやファイルのリアルタイム共有が出来 るようになります。詳細はP98

⑤ 写真撮影

ジオグラフィカクラウドにログインしていると表示されます。このボタンを押すと写真撮影の 画面になります。撮影した写真はスマホのアルバムとアプリ内に保存され、自動でジオグラ フィカクラウドの個人ストレージにもアップロードされます。地図上の撮影した位置に写真の アイコンが表示されます。詳細はP89

情報バナー

センターマークの高度(日本国内のみ)と経緯度が画面の下部に表示されます。ジオグラ フィカクラウドにログインしている場合は現在地送信や写真撮影の残り回数が表示されま す。

情報バナーを長押し

センターマークを長押ししたときと同じメニューが表示されます。中央座標を共有したり、 Googleマップで開いたりストリートビューを見たり出来ます。

■山行前の準備

地図をキャッシュする

表示キャッシュ

歩く予定のエリアを中心に、地図を見ながら行程を確認すれば地図が保存されます。画面 に表示することで地図を保存することを『表示キャッシュ』といいます。保存された地図は圏 外でも機内モードで見られます。

表示キャッシュの手順



- 1. 画面上部の座標バナーを左にスライドすると検索画面になります。
- 山名や地名を入力して検索。結果をタップすると、その地点に飛べます。出てこない場合は近くの地名などを入れて検索してみてください。
- 目的の場所が表示されたら、予定コースにそって地図を確認してください。画面に表示した地図は自動で保存されます。キャッシュするついでによく読図をしてコースの概要を頭に入れておきましょう。

表示キャッシュの注意点

地図を拡大したり縮小したりして詳細地図と広域地図を表示してください。画面に表示した 地図は保存され、表示していない地図は保存されません。広域地図だけ見て詳細地図を 見ていない場合、圏外で地図を拡大するとモザイク状になります。詳細だけ見て広域を見 ていないと、圏外で広い範囲を見ようとした時に地図が表示されません。詳細と広域の両 方を見ておくことが大事です。キャッシュ後に機内モードで確認しておくと安心です。表示 キャッシュは1か月間利用されない場合と、指定された容量(初期設定200MB)を越えた分 が古い順に自動で削除されます。削除される期間と容量はキャッシュ設定で変更できま す。

ー括キャッシュ

エリアを指定してエリア内の地図データをまとめてキャッシュする方法を『一括キャッシュ』と 言います。一括キャッシュのデータは[ファイル]→[一括キャッシュ]に保存され、ユーザーが 消さない限り残り続けます。

ー括キャッシュの手順

メニューの[ツール]→[ー括キャッシュ]を開くと右 のような画面になります。センターマークを一括 キャッシュを行いたいエリアの真ん中あたりに合 わせて ボタンを押してく()、。







地図上に赤い四角形が配置されます。四角形の四隅を長 押しすると動かすことが出来るので、必要なエリアに合わ ボタンをのとエリアを決定して せて調整してください。 次の画面に移行します。 次の画面で、一括キャッシュの名前、最大ズームレベル、

> 確認 山中湖村 名前 保存先:一番上のフォルダ 最大ズームレベル \triangleleft 17 淡色地図 险影起伏网 枚数 174 枚

下部には『枚数:xxx枚』とダウンロードする地図タイル の枚数が表示されます。地図タイルとは、地図を構成 する正方形の画像データです。 最大ズームレベルの数字が多いほどタイルの枚数は

多くなるので、ズームレベルは15か16程度にしてくださ い。

ー度にダウンロード可能なタイル枚数は制限されています。アプリ内課金:機能制限解除 を購入していれば3,000枚までで、無課金の場合は300枚までです。 ボタンを押すとダ ウンロードが開始されます。



ダウンロード中はジオグラフィカの画面を開いた まま、完了するまで待ってください。

完了すると[ファイル]→[一括キャッシュ]に保存

されます。一括キャッシュを行っても事前によく地図を確認してから登山を開始してくださ い。また、古い一括キャッシュが残っていると地図の改訂が行われても反映されません。使 用済みの一括キャッシュは適当なタイミングで削除してください。

表示キャッシュを推奨しています

表示キャッシュは名前の通り画面に表示した地図データをキャッシュする方法です。一括 キャッシュはエリアを設定して一気にダウンロードする方法です。

ジオグラフィカでは表示キャッシュを推奨しています。なぜなら、一括キャッシュは地図を見 なくてもダウンロード出来てしまうからです。

登山の準備において「どの様な山に登るのかよく理解する」ことがとても大事です。登山口 はどこで、どの様な道を通って山頂に至るのか?どこに下山するのか?危険箇所はどこな のか?など、行程を理解しておくことが重要です。

ところが、自分がどの山のどのコースを歩くのか知らずに登ってしまう人もいます。特に パーティー登山だと、自分が登る山についてなにも知らずに付いていくだけなんて人もいま す。それじゃダメですよ。

自分はどういうコースを歩くのか?キツそうなのはどこなのか?自分は無理なく歩けるのだ ろうか?水や食べ物はどのくらい持つべきなのか?いくらパーティー登山でも、そのくらい は各自が事前によく考えておくべきです。自分がリーダーなら尚更だし、単独なら絶対で す。表示キャッシュはコースを理解していないと出来ませんから、ジオグラフィカ公式として は表示キャッシュを推しています。一括キャッシュは便利だからこそダメなのです。 また、表示キャッシュのデータは使われなくなれば自動で削除されます。ストレージの節約 にもなりますし、将来地図が改訂された時は新しい地図が読み込まれます。一括キャッ シュはユーザーが消さない限り消えないため、地図が改訂されても古いまま表示されま す。

この様な理由により、表示キャッシュを推奨しています。一括キャッシュは課金による制限もありますし、是非表示キャッシュを使いこなしてください。

12

駅、バス停、登山口、分岐、山頂、山小屋、ゴール地点などのマーカーを登録しておくと便 利です。ジオグラフィカのナビゲーション機能を利用して快適な登山が出来ます。ただ現在 地が判ればいいという程度の使い方ならマーカーは必要ないので、この項目は読み飛ばし ても構いません。

マーカーを作る手順



登録したマーカーは[メニュー]→[ファイル]→[マーカー]に保存されます。



絵文字マーカー

マーカーの名前の1文字目を絵文字や 記号にすると、それがアイコンになり地 図上に表示されます。ジオグラフィカに 入っているマーカーで足らない場合は 絵文字マーカーをお試しください。 絵文字マーカーの文字の色は、アイコンを選んだときのテーマカラーに準じます。赤い菱形 を選べば赤い文字、紫の菱形なら紫の文字になります。

マーカーのラベル

マーカー	
マーカーを自動表示	
ラベル表示	自動 すべて なし
下部ラベル	自動高度メモーなし



マーカーには種類によって名前やメモ欄が表示 されます。どのマーカー種別で表示するかはア プリ側で決めています。

もし全てのマーカーでラベル表示をしたい場合 は、[設定]→[マーカー]→[ラベル表示]で『すべ て』を選んでください。すると、通常はラベル表示 が無い菱形アイコン などでも名前などが表示 されます。

マーカーポップアップと磁方位



地図上のマーカーを押すとポップアップで マーカーの情報が表示されます。マーカー の高度(標高)や現在地からの直線距離、 高度差などが簡単にわかります。後述する マーカーのロックオンやルート案内を使え ば、更に便利に活用できます。

プレートコンパスと組み合わせて使う機能も

あります。マーカーポップアップの右上に『磁方位』が表示されています。下の画像では 284°となっています。この角度をプレートコンパスにセットし、ノースマークと磁針が重なる ようにコンパスを振ると、進行線の先が設定したマーカーの方角ということになります。



磁方位の方位角は磁北偏差補正済みのため、プレートコンパスにセットすればそのまま使 えます。地図に書いた磁北線に合わせてカプセルを回すという一連の作業の答えを提示 する機能です。

■登山中のジオグラフィカの使い方



現在地を表示させる

登山口に着いたら、とりあえず現在地ボタン を押して現在地を表示させてください。左の 画像のように、座標バナーの文字が青で、 高精度に測位出来ていれば現在地が画面 中央に表示されます。

携帯圏内ではネットワークのサポートにより 短時間で測位出来ますが、圏外やSIM無し など、ネットに繋がっていない場合は初期測 位に時間がかかる場合があります。準備運 動でもしながら精度が上がるのを待ってくだ さい。

トラックを記録する

トラックを記録しておくと自分がどこを歩いたのか後で見ることが出来ます。記録したトラックを次回の同コース登山で表示させたり、共有機能で仲間に送ることも出来ます。

トラックの記録中はバックグラウンドでジオグラフィカが動作を続けます。1時間に100~200mAh程度のバッテリーを消費します。モバイルバッテリーを必ず持っていきましょう。

トラックを記録する手順

- 1. 画面右のトラックボタンを押す。
- 2. トラック名を入力して (〇) を押す。

スマートメニューからの開始

上記手順だけでなく、メニューボタン長押しからも記録を開始することが出来ます。操作が わからなくなったら、メニューボタンを長押ししてください。

新規か追記か

トラックの記録を開始するとき、下の画像のように選択肢が出ることがあります。縦走の2 日目以降など、連続して記録したい場合は開始時に『トラック追記』を選んでください。



1日目と2日目でトラックを分けたい場合や、候補として 出ているトラックは地図に表示させたいだけで、今回 の登山と関係ないトラックである場合は『新規トラック』 を選んでください。

トラック記録中の挙動

トラックの記録中は、設定された間隔で座標を記録していきます。初期設定は45秒経って いて45m経った場合です。『自動:標準』という設定です。歩くのが速い方は『自動:細』にす るか、『時間:10秒』などにすると細かく記録されます。ただし、細かく記録するとデータ量は 増えます。おすすめは『自動:標準』です。 トラックは座標の点で構成されていますが、その点を記録する時に「ピヨピヨ」という記録音 を鳴らしています。記録が行われていることが音でわかるように、また、記録を止め忘れた 時に気付けるようにという意味があります。音の種類は[メニュー]→[設定]→[トラック]→[記 録音]で変更できます。『なし』にすれば鳴らなくなります。音の大きさはスマホの音量と連動 しています。

トラックコントロールパネル

トラックを記録中はトラックボタンが緑色になります。

 $\mathbf{\mathbf{6}}$

この状態で押すと、トラックのコントロールパネルが表示されます。スタートから歩いた距離、時間、標高データなどが表示されます。停止や一時停止もここで行います。

停止



トラックを停止します。ゴールに着いたら忘れず に停止してください。山小屋に泊まって翌日歩く ような場合も停止で記録を停止してください。

一時停止

例えば1時間休憩するので、その間はバッテ リー節約のために測位を止めておきたい、とい う状況で使うことを想定しています。ただし、歩き 始める際に再開を忘れがちなので一時停止は 使わないほうがいいかも知れません。一時停止

の再開を忘れた場合、忘れていた部分のログは残りません。しばらく経ってから再開すると、その部分は直線で結ばれます。

トラックを記録しない場合の注意点

バッテリーの節約を目的としてトラックを敢えて記録しないという使い方も可能です。たまに

ジオグラフィカを開いて現在地を確認したり、マーカーなどとの位置関係を見るという使い 方になります。

トラックを記録していないと、トラックを記録している場合よりも現在地の測位に時間が掛かるのでご注意ください。

トラックを記録しているときは常に測位をしているので、最新の現在地がすぐに表示されま す。記録していない場合は、ジオグラフィカの画面を開いてから再測位を始めるので確定 まで時間が掛かります。

マーカーを使ったナビゲーション



ロックオンされたマーカーと現在地は直線で結ばれます。線の色はマーカーの色と連動し ており、紫系のマーカーなら線も紫になります。 マーカーロックオン中の挙動

ロックオン中は座標バナーの下に『ナビゲーションバナー』が表示され、ロックオンしたマー カーまでの距離、高度差、到着予想時間、マーカー名が表示されます。この内容は、トラッ クを記録していればスピーチ機能により一定間隔で読み上げられます。複数のマーカーを ロックオンしている場合は、最後にロックオンしたマーカー、またはマーカーをタップしてポッ プアップを表示したマーカーがの情報が読み上げられます。マーカーの近くに到達すると 「到着しました。ロックオンを解除します」として自動でロックオンが解除されます(バックグ ラウンドでの到着判定はトラックログを記録している場合のみです)。



ナビゲーションバナーをタップすると該当マーカーが画面中央に表示されます。

マーカーロックオンの解除方法

手動でロックオンを解除したいときは下記の手順で解除してください。

- 1. ロックオンしたときと同じ様にマーカーを長押し。
- メニューの『ロック解除』をタップ。
 次に目指すべきマーカーがある場合は、そのマーカーを長押ししてロックオンしてください。

ゴールに着いたら

ゴールに着いたらマーカーのロックオンを解除して、トラックの記録も停止して行動終了と なります。

ルート案内

マーカーを使ったナビゲーションは、マーカーに到着するたびにロック解除とロックオンを ユーザーが操作する必要があります。これを自動化したものがルート案内です。ルート案 内中は目指しているマーカーまでの距離などが簡単にわかり、到着すると音声でお知らせ してくれます。※必須の機能ではないので分かる方だけ使ってください。

ルートの作り方

[準備]予定のコース上にマーカーを登録してください。登山口、分岐、山頂、ゴールなど、行 程でポイントになる場所にマーカーを作ります。



- [メニュー]→[ツール]→[地図からルート作成]を押してくだ さい。
- ルート作成モードになるので、スタートのマーカー(登山 ロなど)からゴールのマーカーまで順番に押してくださ



い。登録されたマーカーはリストに追加されます。間違えたらマイナスボタンで1つ戻せます。

3. 最後まで登録できたら のタンを押し、ルート名を入力して を押の保存します。

ルート案内の始め方



保存されたルートはルートー覧に入っていま す。ルートー覧はメイン画面の右に並んでいる ボタンの ボタン (同時) ボタン (「「「」」) [メニュー]→[ファイル]→[ルート]でも同じ画面 が開きます。



各ルートの行にある『開始』を押すとメニュー が表示されます。

ルート案内を開始しますか? 戸倉三山	
ルート案内	8
逆ルート案内	
往復ルート案内	

ルート案内

登録したマーカーを最初から順に案内します。通常はこれを使います。

逆ルート案内

逆順に案内します。『A駅→B→山頂→C→D駅』という順のルートなら『D駅→C→山頂 →B→A駅』と案内します。 ゴースに着いた時に終了せず、逆ルート案内を開始します。例えば登山口から山頂までの ピストンルートを歩く場合、登山口から山頂までのルートを作って『往復ルート案内』を動か します。山頂に着いた瞬間逆ルート案内が自動で始まって登山口までの案内を開始すると いう動作です。

トラックリンク

ルート案内を開始すると、自動でトラックの記録も開始されます。トラック名はルート名がそ のまま入りますが変更も可能です。

ルート案内中の動作



ルート案内中は左の画像のように現在地 とルート内のマーカー同士が赤い直線で 結ばれます。左の画像だと『刈寄山』を目 指している状態です。

目指しているマーカーの半径20m以内に 入るか、80mまで近づいた後に遠ざかると 到着と判定されて次のマーカーが目的と してセットされます。

目的地を手動で変更する、手動で案内を停止する



途中でルートを変更したい場合や、ルート のゴールとなっているマーカーの手前を ゴールとしたい場合があります。その時 は、緑になっているルートボタンを押してく ださい。ルート案内のコントロールパネルが表示されます。



ルート内のマーカーがリスト表示されて、現 在目指しているマーカーにチェックマークが 付きます。変更したい場合は、これから目 指したいマーカーの行を押してください。「 xxxを目指します。よろしいですか?」と確 認が入り、「はい」を選ぶとそのマーカーが 目的地としてセットされます。

ルート案内を途(□)停止したいときは、左

下の停止ボタンを押してください。確認後ルート案内を停止します。

ルート案内が終了したら

ルート内の最後のマーカーに到着すると自動でルート案内が停止します。トラックの記録も 自動で停止するとアナウンスされます。もしまだトラックの記録を続けたい場合は、20秒以



内にジオグラフィカの画面を開いて停止をキャ ンセルしてください。ルート案内を使うと、ゴー ルと共にトラックの記録も停止するため止め忘 れを防ぐことが出来ます。

■登山後 トラックの活用方法

トラックログ画像

トラックの記録を停止すると自動でトラックログ画像を生成します。場合によっては少し時間

が掛かるかも知れませんが、そのままお待ち下さい。処理が終わると作成したトラック画像が表示されます。SNSなどで共有したい場合は『共有』ボタンを押してください。



Twitter(X)で共有すると、画像とテキスト情報が送られます。例えばこんな感じです。「松生山i12P #geographica #ログ #松生山 #天領山 #小岩浅間 ダウンロード:

https://geographica.biz/l/storage_dl?(以下略」

Facebookの共有機能はテキストの入力を受け付けていないので画像だけが自動で送ら れます。テキスト情報はクリップボードに入っているので、共有画面で『貼り付け(ペース ト)』を行ってください。ちなみに「#松生山 #天領山 #小岩浅間」などのハッシュタグはトラッ ク上にあるマーカー名を拾っています。

「その他で共有」を選ぶとメール添付やLINEなど、様々な方法で共有出来ます。

トラックログ画像はスマホの写真アルバムに保存されます。iOSは写真(カメラロール)に入ります。Androidは写真フォルダのGeographicaフォルダに入っています。



トラックログ画像は左のようなもので、地図の上にトラックが描画されます。地図は地図メニューで選択し

ているものが使われます。海外のトラックで画像を作りたいなら、OpenTopoMapなどに切り替えてください。

文字情報は各種記録で、左端にQRコードが入ります。ジオグラフィカクラウドにログインしていない場合はジオグラフィカのインストール用QRコードが入ります。

トラックログ画像のダウンロードQR



ジオグラフィカクラウドにログインしていて、トラックを 個人ストレージにアップロードしたときはダウンロード 用のQRコードが入ります。このQRコードをジオグラ フィカが入っているスマホで読み取ると、そのトラック ログ画像のトラックをジオグラフィカに取り込むことが 出来ます。

ダウンロードQRが入ったトラックログ画像を作れるの は、「1.トラックの記録時停止時に個人ストレージにアップロードしたとき」と「2.トラック一覧 からトラックを個人ストレージにアップロードしたとき」の2パターンです。

トラックを地図に表示する



[メニュー]→[トラック]→[トラックー覧]で各トラッ クの ボタンを→して『表示してジャンプ』を選 ぶと地図に表示されます。

表示中のトラックは ●玉マークが点灯します。目玉マークを押すことでも表示状態と非表示状態を切り替えることが出来ます。まとめて

26

表示/非表示を切り替えたい場合は、目玉マークを使ってください。

なお、地図に多くのトラックを表示しっぱなしにしておくと、ジオグラフィカの起動や動作が重 くなります。起動するたびにトラックの読み込み処理が発生するためです。用が済んだト ラックはなるべく非表示にしてください。

まとめて非表示にする方法



648

センターマークをトラックの線に合わせると、その地点の時刻、スタートからの経過時間、ス タートからの距離、標高が表示されます。

複数のトラックが表示されている場合は、センターマークと重なったトラックのグラフが表示 されます。



■様々な長押しメニュー

ジオグラフィカの操作体系には「長押し」が多く使われています。ここでは、長押しによって 現れる機能を解説します。

地図上のトラックを長押し



地図上のトラックの線またはトラックのスタートとゴールを 示すSかGのマークを長押しするとメニューが表示されま す。

非表示にする

トラックを非表示にします。地図上からは消えますが、 データが消えたわけではないのでトラック一覧を開けば また使用できます。

トラックを編集する

トラックを編集できます。詳細はP44。ただし、編集機能はアプリ内課金『機能制限解除』の 購入が必要です。

集計表示

トラックの記録時間、距離、最低地点と最高地点の高度、累計高度、消費カロリーなどを表示します。消費カロリーは体重と荷物の重さ、距離、累計高度、時間などから計算されます。体重と荷物の重さは[設定]→[一般]→[重量設定]で変更できます。

ロックオン

表示されているトラックの線が太くなります。その状態で現在地が線の上から外れると、逸 脱を音声で教えてくれます。逸脱判定の距離は100m程度です。戻ると戻ったことも教えて くれます。ロックオンを解除したい時は、再度トラックを長押しして『ロック解除』を選んでくだ さい。※ジオグラフィカがバックグラウンドで動いていないと逸脱警告は動作しません。トラックの記録中はバッ クグラウンドで動作します。

通信状態表示

スマホを機内モードにせずトラックを記録すると、携帯圏外になっていたかどうかがログに 記録されます。通信状態表示をすると、圏外になっていた部分が灰色で表示されます。

リプレイ

トラックの記録時間に従って黄色い矢印が動いていきます。記録済みのトラックとペースの 比較をすることが出来ます。

共有

選ぶと、トラックやマーカーを共有するためのサブメニューを開きます。



トラック[xxx]をGPX/KMLエクスポート

トラックをGPX形式かKML形式のファイルにしてジオグラフィカ外に送ることが出来ます。 DropboxやGoogleドライブに保存、メールに添付、LINEに添付して送るなど、様々な方法 で外部に送れます。

マーカー[xxx]周辺のマーカーをエクスポート

トラックではなく、トラックの周辺にあるマーカーをまとめて1つのGPXファイルにして外部に 送ることが出来ます。自分が作ったマーカーを仲間に送りたい時に使ってください。 ジオグラフィカクラウドにログインしている場合

上記はクラウドにログインしていない場合です。クラウドにログインしていると下の画像のように共有メニューの内容が増えます。個人ストレージかグループクラウドに保存するという メニューが、トラックとマーカーに対して増えています。



地図上のマーカーを長押し

地図上のマーカーを長押しするとメニューが表示されます。マーカーのロックオンについて は既に解説していますので、ここではロックオン以外の機能について説明します。

マーカー:陣馬山	
削除	
非表示にする	

31

削除

マーカーを削除します。データ自体が消えるので、よく確認してから削除してください。

非表示にする

非表示にします。データは消えないので、[ファイル]→[マーカー]でマーカー一覧を開けば どこかにあります。

編集する

名前や読み、メモなどを変更できます。

位置を変更

マーカーの位置を変更します。地図をスクロールさせて、センターマークを移動したい場所 に合わせて ボタン(の)すと、その地点にマーカーが移動します。

マーカー情報をコピー



マーカーの名前、高度、座標、追加用のリンクが入ったテキス トがクリップボードに入ります。メールやLINEにそのテキストを 貼り付けて送れば位置情報を素早く共有できます。マーカー 追加リンクを相手が開けば、自動的にジオグラフィカが起動し てマーカーが追加されます。

共有QRを表示



目の前にいるジオグラフィカユーザーにマーカーを渡したい時に使います。表示されたQRコードを相手のスマホで読み取ると、自動的にジオグラフィカが起動してマーカーが追加されます。

GPXエクスポート

マーカーの情報が入ったGPXファイルを外部に送れます。送り先の人がジオグラフィカを 使っていない場合は、上記の追加リンクやQRコードを使えないため、GPXファイルで送る のがよいでしょう。

Googleマップナビ/ヤフーカーナビに送る

マーカーの座標を各種カーナビアプリに送ります。登山口までのナビに使えますが、道が 正しいか、車が通れる道なのかよく確認してください。



メニューボタンを長押し

長押しすると状況に応じた機能が出てきます。操作に困ったらメニューボタンを長押ししてく ださい。



座標バナーを長押し



現在地をフェイスブックに送る

現在地の座標が入ったGoogleマップのリンクが入った投稿が作られます。フェイスブックの共有機能はテキストを受け取らないのでURLだけが自動で入ります。上記ツイートの様なテキスト情報はクリップボードに入っているので、必要なら手動で貼り付けてください。

現在地をLINEに送る

ツイートの場合と同じ内容のテキストをLINEアプリに送ります。

現在地をクリップボードにコピー

クリップボードに現在地情報のテキストが入ります。テキストを扱えるあらゆるアプリに貼り 付けることが出来るので、別のアプリに移動して貼り付けて保存なり送るなりしてください。

現在地をメール送信

ツイートの場合と同じ内容のテキストをメールアプリに送ります。

グループを選んで現在地を共有する

ジオグラフィカクラウドにログインしている場合だけ使えます。グループに入っている場合 は、グループに対して自分の現在地を送れます。グループデータリンク(自動で情報が同 期する機能)を使っていれば現在地も自動で送られますが、ここでは手動で送ることが出 来ます。手動で送ることはあまり無いので気にしないでください。
センターマークを長押し



画面中央のセンターマークを長押しすると、センター マークのメニューが表示されます。ただし、センターマー クがマーカーやトラックと重なっていると、それらの長押 しメニューが優先して表示されます。重なっている状況 でセンターマークメニューを表示したい場合は、画面下 部の情報バナーを長押ししてください。同じメニューが表 示されます。

マーカーを追加する

センターマークの地点にマーカーを作ります。動作とし ては、メイン画面右のマーカー追加ボタンを押したときと 同じです。

カスタムURLをコピー/中央座標をコピー 画面中央の座標をテキストにしてクリップボードに入れ ます。カスタムURLの場合はジオグラフィカで開くための URLだけ。中央座標の方は経緯度のテキスト情報とカ スタムURLの両方がクリップボードに入ります。



ALL CONTRACTOR OF A DECISION OF A DECISIONO	
センターマークメニュー Z:15.9 高度:591m 35° 38' 48.01" N 139° 08' 59.09" E 直線距離:647m 高度差:92m 磁方位:45° 北東	
マーカーを追加する	
カスタム URLをコピー	
中央座標をコピー	
Google マップで開く	
ストリートビューで開く	
この地点の天気予報を表示	
Google マップナビに送る	
ヤフーカーナビに送る	
この地点をデータリンクの隠蔽座標に設定する	

Googleマップで開く/ストリートビューで開く

センターマークの座標でGoogleマップ、ストリートビューを開きます。

この地点の天気予報を表示

センターマークの座標をtenki.jpのWebページに送って、ブラウザでその地点の天気予報 を開きます。

Googleマップナビ/ヤフーカーナビに送る

マーカーの座標を各種カーナビアプリに送ります。登山口までのナビに使えますが、道が 正しいか、車が通れる道なのかよく確認してください。

この地点をデータリンクの隠蔽座標に設定する

ジオグラフィカクラウドにログインしている場合に表示されます。クラウドのグループデータ リンクで現在地の座標を送る際に、うっかり自宅の座標を送らないように、自宅近くのどこ かを隠蔽座標に設定します。すると、その座標から半径1km以内のエリアでは現在地を送 信しません。自宅ピッタリを設定すると中心が自宅とバレてしまうので、少しズラしておくの がよいでしょう。

コラム ジオグラフィカの歴史

私は2009年11月にiPhone3GSを購入したのですが、当時は登山用のGPSアプリが存在 しませんでした。iPhoneは電話として山に持って行ってはいましたが、iPhoneを独占販売 していたソフトバンクの回線は山で繋がりにくく、登山用のアプリも無いので電源を切ってい ました。

時は流れて2010年の6月くらいに「ん?iPhoneってGPSが入ってるよな?山で使えないの かな?」と思ってGoogleマップの画面を見たところ、位置は表示されるけど登山に使える 地図が表示されません。「なるほど、地図が無いのか。なら地図があれば...」と思って家に 帰ってからテスト用のアプリを作りました。

四隅の経緯度が分かっている地図画像をアプリに入れて、スマホのGPS機能で測位した 経緯度から地図上の座標を計算すれば地図のどこにいるのか表示できるはず…と思って プログラムを書いてみたら出来ました。

この単純な原理で出来たのがジオグラフィカの前身であるDIY GPSです。iPhone用として は日本初の登山用アプリとなります。(※Android用としては2009年12月に地図ロイドがリ リースされていますが、当時はAndroidスマホを使っていなかったため存在を知りませんで した。)

その後、無料アプリの台頭やDIY GPSの基本設計の限界などから全て作り直して2014年 10月にリリースしたのが当アプリ、ジオグラフィカです。DIY GPSのコードを引き継ぎつつ、 外観から内部処理まで大幅に変更されています。

2010年10月 DIY GPS(iPhone)リリース

2014年10月 ジオグラフィカ(iPhone)リリース

2015年 7月 ジオグラフィカ(Android)リリース

38

■各種ファイルの操作



ジオグラフィカ内の各種データには[メニュー]→[ファイル]から アクセスできます。表示中のファイル、トラック、マーカー、ルー ト、カスタムマップ、一括キャッシュ、写真、図形、バックアップ があります。

ファイルは種類ごとに管理されており、種類ごとに操作の内容が少し違っています。

共通のファイル操作



左の画像はファイルでトラックを選んだ時に表示されるトラッ ク一覧です。

各行をタップすると、その行の左側のチェックマーク が点、 します。チェックマークは複数点灯させることができます。 チェックマークが一つでも点灯していると、左下のチェックボタ ン が使えるようにない、すと処理メニューが表示されま す。

メニューの内容は種類によって変わりますが、『削除』と『フォ ルダに移動』は共通しています。

削除

チェックマークを入れたデータを削除します。ゴミ箱の機能は無く、削除したら本当に消えま す。慎重に操作してください。 フォルダに移動

ファイルはフォルダで管理することが出来ます。フォルダは事前に画面下部のフォルダ追 加ボタン で作うおく必要があります。『フォルダに移動』を選ぶとフォルダの一覧が表 示されるので、移動先のフォルダを選んでください。

フォルダの使い方

フォルダを作ると下の画像の様にフォルダアイコンが表示されます。フォルダの中に入るに は行の右にある詳細ボタン を押しま 💫



下の画像は「奥多摩」という名前のフォル ダに入った状態です。フォルダ名は上部 のフォルダ名を書き換えると変更されま す。現在見ているフォルダ名は『現在の フォルダ』の欄に表示されます。上のフォ ルダに移動したいときは、画面下部の上 ボタン を押して移動してくのか。

意図せずフォルダを作って、意図せずフォ ルダに入って「トラックやマーカーが全部 消えた」と驚く方がいます。自分がどの フォルダを見ているか意識して使ってくだ さい。分からなければフォルダは作らない でください。フォルダを作らなくても問題な

く使えます。

下記では、各ファイル種別ごとに特有の操作を説明します。

ファイル→トラック



⇒ジャンプ/表示ボタン

そのトラックの位置にジャンプしたい、またはトラック を地図に表示したい時に使います『表示してジャン プ』を選ぶと地図に表示されます。

目玉ボタン

▶詳細ボタン

トラックの詳細画面を開きます。詳細画面ではトラッ クポイントがリスト表示されます。詳細は後述の<u>『ト</u> <u>ラック詳細』をお読みください。</u>

トラック処理メニュー

各行を押してチェックマーク をくれて ・・くつボタンを押すと処理メニューが表示されます。ここではトラックの処理に固有の内容を解説します。

トラックを1つだけ選択した場合と複数選択した場合で表 示されるメニューや内容が変化します。

GPXエクスポート/GPXメール送信(1 or 複数) トラックをGPX形式のファイルで外部に送ります。チェック が1つならGPX、複数なら複数のGPXをまとめてzipで圧縮したファイルを送ります。GPX ファイルにはトラックポイント座標だけでなく時刻や座標精度など、多くの情報が入っていま す。

KMLエクスポート/KMLメール送信(1 or 複数)

トラックをKML形式のファイルで外部に送ります。1つか複数かの挙動はGPXの場合と同じ です。KMLは座標の経緯度と高度しか入らず、多くの情報が落ちてしまいます。稀にLINE でGPX形式を開けない場合があり、そのためトラックの共有でKMLが使われることがある ようです。



トラックの設定(1 or 複数)

トラックの線の色、太さ、透明度を設定できます。ジオグラ フィカの設定でトラックの規程色を変更できますが、ここで はトラック個別の設定変更が可能です。色はRGB(赤、緑、 青)のスライダーで調整します。透明度はαです。作られた 色が上部のバナーに表示されます。

集計表示(1 or 複数)

トラックの記録時間や距離を集計して表示します。

コピーを作成(1つの場合だけ)

トラックのコピーを作ります。トラックを編集する前や標高を校正する前など、なにか大きく 編集する前にコピーを作っておくと安心です。

トラックを結合(複数の場合だけ)

複数のトラックを結合して、1つのトラックにまとめることができます。

トラック画像を保存(1つの場合だけ)

トラックを地図上に描いた画像を作ります。詳細はP24

標高を校正する(1つの場合だけ)

日本国内で記録したトラックのみ、標高タイルというデータを使用してトラックの標高データを校正します。標高が乱れたトラックに対してお使いください。

個人ストレージにアップロード(1つの場合だけ)

ジオグラフィカクラウドにログインしている時だけ使用できます。クラウドの個人領域にトラックログをアップロードします。アップロード後に、そのトラックログをダウンロードできるQR コードを含んだトラック画像が生成されます。



グループクラウドにアップロード(1つの場合だけ)

トラックをグループクラウドにアップロードします。グループデータリンクを使用中は、データ リンクをしているグループにのみアップロード出来ます。データリンクしていない場合は、次 のメニューでアップロード先のグループを選択します。

トラック詳細

トラック	7名 大菩薩周		トラック言	単細を開	くと左の	りような画面にな	ります。ト
2,000m			ラックの	名前を変	をえたい	ときは上の『トラ	ック名』を
1,500m			変更して	ください	0		
828m 0m	睢11.5km 最高高度2,053r 51	n 累計高度 (+)622m 累計高度 (-)1,382m m 10km 11.5km					
トラックボ	イント一覧		停止を忘	れた場	合は、	要らないトラックオ	ポイントの
0 1:	35° 43' 54.05" N 38° 49' 56.64" E E:1,588m	精度:★★★★★ 通信:圏外 2023/08/07 08:00:00 GMT+9	行を押し	てチェッ	クマー	ク を付け 🐼 さ	E下の
O 1	35° 43' 54.46" N 38° 49' 58.75" E E:1,608m	精度:★★★★★ 通信:圈外 2023/08/07 08:03:20 GMT+9	チェックァ	ドタン	から肖	シ きます。	
0 1	35° 43' 55.64" N 38° 49' 59.57" E E:1,613m	精度:★★★★★ 通信:圈外 2023/08/07 08:04:25 GMT+9		35° 43' {	57.41" N	精度:★★★★★	
0 1	35° 43' 57.41" N 38° 50' 00.16" E E:1,611m	精度:★★★★★ 通信:圈外 2023/08/07 08:05:38 GMT+9		138° 50' (E	00.16" E :1,611m	通信:圈外 2023/08/07 08:05:38	B GMT+9
0 1	35° 43' 58.35" N 38° 50' 00.74" E E:1,608m	精度:★★★★★ 通信:圈外 2023/08/07 08:06:22 GMT+9	0	35° 43' 5 138° 50' (E::	8.35" N 00.74" E 1.608m	精度:★★★★★ 通信:圏外 2023/08/07 08:06:22	9 GMT+9
0 1	35° 43' 59.65" N 38° 50' 00.88" E E:1,627m	精度:★★★★★ 通信:圏外 2023/08/07 08:09:46 GMT+9	0	35° 43' 5 138° 50' 0	9.65" N 0.88" E	精度:★★★★★ 通信:圏外	
1	35° 44' 00.63" N 38° 50' 02.09" E E:1,631m	精度:★★★★★ 通信:圈外 2023/08/07 08:10:48 GMT+9		E:	1,627m トラックポ	2023/08/07 08:09:46	6 GMT+9
0 1	35° 44' 01.63" N 38° 50' 03.39" E F:1 632m	精度:★★★★★ 通信:圈外 2023/08/07 08:11:46 GMT+9					
				Fï	用 1632m	则际 2023/08/07 08:11:46	GMT+9

。ラック編集(要:機能制限解除)



削除すべきポイントが多すぎる場合や、ポイントの移動や追 加など、少し複雑な編集をしたい場合はハサミボタンを押し てトラック編集機能を開いてください。

編集機能を開くと、左のような画面になります。トラックポイントに赤い十字マークが表示されています。各トラックポイントを押す(タップする)ことで編集していきます。

44



削除

そのポイント1つが削除され、前後のポイントが線で結ばれます。

分割

そのポイント1つが削除され、前後のポイントは結ばれません。一旦そこでトラックの記録を 停止して、追記した場合と同じ状態になります。





以前を削除/以降を削除

そのポイントの前の部分、または後ろの部分をまとめて削除します。ゴールに着いたのにトラックの記録を止め忘れた場合は『以降を削除』を選びます。



トラックログの後ろにポイントを追加したい場合はこのボタンを押して追加モードにしてポイントを追加してください。画面下部のパネルにある ボタンを押すことで、センターマークの位置にポイントが追加されていきます。 ボタンを押して確定してください。





編集操作を間違えた場合はやり直し(アンドゥ)ボタンを押して操作を取り消してください。 押すごとに操作を遡って取り消していきます。

●保存、キャンセル 編集が終わったら ●タンで保存してください。保存したくない場合は ボタン ● て、保存せずに編集画面を閉じてください。

ファイル→マーカー

😪 📟 日時		۲			
マーカー一覧					
<+→天地沢	€	۲	0		
▲ 崖崩れ ^{到着:2023-08-06 13:45:59}	€	۲	0		
G ゴール	€	۲	0		
<u></u>	€	۲	0		
◆ ミズナラ	€	۲	0		
▶ おくたま徘徊会			0		
📂 おくたま登山学校			0		
📮 宇都宮駅	€	۲	0		
(************************************	€	۲	0		
← € バーベキュー場 ∃∄:2023-05-27 12:55:48	Ð	۲	0		
マーカーを処理		1			
削除					
フォルダーに移動	劼				
表示する					
GPXエクスポート					
メールに添付する					
個人ストレージにアップロード					
グループクラウドにアップロード					
利益:2023-05-27 12:55:48 キャンセル					

ジャンプ/表示ボタン
 そのマーカーの位置にジャンプしたい、または
 マーカーを地図に表示したい時に使います。初期設定ではマーカーは全部表示されるので、全
 てのマーカーの目玉マークが点灯し・います。
 マーカー処理メニュー
 各行を押してチェックマークをつれて
 チェックボタンを押すと処理メニューが表示され
 ます。ここではマーカーの処理に固有の内容を
 解説します。

マーカーは1つだけでも複数を選択しても処理メニューの内容は変化しません。

GPXエクスポート マーカーの情報をGPXファイルにして外部に送 信します。複数のマーカーが選択されていた場 合は、複数のマーカーの情報が1つのGPXファ イルに入ります。

メールに添付する 上記、GPXエクスポートと同じGPXファイルを メールに添付します。メール作成画面が自動で開きます。

個人ストレージにアップロード

ジオグラフィカクラウドにログインしている時だけ使用できます。クラウドの個人領域にマー カー情報のGPXファイルをアップロードします。

グループクラウドにアップロード

マーカー情報が入ったGPXファイルをグループクラウドにアップロードします。グループ データリンクを使用中は、データリンクをしているグループにのみアップロード出来ます。 データリンクしていない場合は、次のメニューでアップロード先のグループを選択します。

詳細ボタン

ഊ──カ─の編集画面を開きます。マーカーの名前などを変更することができます。

マーカー編集画面



メモ欄を読み上げます。例えば危険箇所や忘れずになにかしたい地点に接近報告マー カーを作っておくとよいでしょう。 グループ共有

ジオグラフィカクラウドにログインしていて、グループデータリンク中だけ表示されます。 チェックを入れると、グループ共有マーカーとしてグループに送信されます。他のメンバーも データリンク中であれば、リアルタイムでメンバーのジオグラフィカにマーカーが追加、表示 されます。



ルートー覧は、メイン画面右のルートボタン かっ アイル]→[ルート]から開けます。



は複数のGPXファイルを圧縮したzipファイルになります。

メールに添付する

ルート情報のGPXファイルをメールに添付して送ることが出来ます。複数のルートを選択した場合は、複数のGPXファイルがメールに添付されます。

個人ストレージにアップロード

ジオグラフィカクラウドにログインしている時だけ使用できます。クラウドの個人領域にルー トのGPXファイルをアップロードします。

グループクラウドにアップロード

ルートのGPXファイルをグループクラウドにアップロードします。グループデータリンクを使用中は、データリンクをしているグループにのみアップロード出来ます。データリンクしていない場合は、次のメニューでアップロード先のグループを選択します。



≥詳細ボタン

ルートー覧の各行の右にある詳細ボタンを押すと。 ルートを構成するマーカーが一覧表示されます。

構成マーカーの削除

削除したいマーカーの行をタップしてチェックマークを 付けて、左下のチェックボタン を押すとの一が 表示されます。『削除』を選ぶと削除できます。

構成マーカーを追加

画面下部のプラスボタン を押すと、マーカーのリストが表示されます。追加したいマーカーをタップすると ルートの最後尾に追加されます。地図から選ぶタイプ ではないので、操作は若干面倒です。難しければ、[ツール]→[地図からルート作成]でルートを作り直してください。

構成マーカーの順序を替える



もう一度並べ替えボタン を押すと通常モードに戻り ます。

ルートの内容をメールで送る

猿橋	\$駅 → 九鬼山 → 鳥沢駅 ①
宛先:	
Cc:	
Bcc:	
差出人:	keiziweb@gmail.com
件名:猪	積橋駅→九鬼山→鳥沢駅
下記日	程とルートで行動する予定です。
■入山	日
2023/	08/13
■下山	予定
2023/	08/13
■予定	ルート
1.猿橋	駅
2.神楽	Щ
3.御前	Щ

ルート詳細画面の下部にある -ルボタンを押す ことで、ルートの内容をメールで送ることが出来ます。 入山日と下山日を指定して ボタンを押 メール の画面になります。メールにはルートのGPXファイルも 添付されます。簡易的な登山計画書として家族などに 送っておくとよいでしょう。

ファイル→カスタムマップ

カスタムマップは、1枚の地図画像+その地図画像の

四隅の経緯度で構成される地図データです。ジオグラフィカの前身のDIY GPSはカスタム

マップのみで地図を表示するアプリで、その機能を引き継いでいます。ただし、ジオグラフィ カにおいてはさほど重要な機能ではないため最低限の機能しかありません。

カスタムマップの作り方

カスタムマップはWindowsのフリーソフトであるカシミール3Dで作ることが出来ます。[ツー ル]→[マップカッタープラグイン]→[切り出し]でマップカッターを開くと、下のようなダイアログ が表示されます。

マップカッター	×	出力形式
サンブル画像	出力先フォルダ(E)	
美の院 1077	C:¥user¥Documents¥My Dropbox¥ 参照	GARMIN/GoogleKMZ形式
W 1084	○ リンミール形式(ビットマッフ地図) ▽ 圧縮する ファイル先頭文字列 map	
a all and a start		ファイル種類
	〇 SUUNTO TrekManager形式	IDC形式 只管·80
	ファイル名 new	51 0 / 51 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
1枚の画像サイズ:933 × 770 全体の必要容量(BMP時):701KB	● GARMIN / Google KMZ 形式	
	ファイル名 御岳山 してのいるシングイル	枚数で指定
	ファイル種類	
	○BMP形式 ○2BP形式 ○PNG形式 ④ JPG形式	│ │
<ビントン 地図の背景を専用バレットに変えると、 しいしいコニゴムできます。	JPEGoo角(10-100) 80	
agygn cinge cearge.		
	□グレースケール(<u>G</u>)	地図を等倍表示で切り出す
	分割数	
☑ 地図を等倍表示で切り出す	○画面サイズを指定 横 480 dot 縦 480 dot	オン
	● 权致で指定 積 1 枚 縦 1 枚	
	OK キャンセル	

この設定で作られたkmz形式のファイルをファイル共有アプリやメールでスマホに送り、そ こからジオグラフィカにインポートさせるとカスタムマップとして地図上に表示出来ます。

なお、kmz形式の実体はzipファイルであり、拡張子をzipに変えて展開すると『 custom_map.jpg』と『doc.kml』という2つのファイルが入っています。custom_map.jpgが 地図の画像です。doc.kmlには地図画像の座標情報が入っています。これらのファイルの



有無からカスタムマップと判定しているため、内容によってはkmzでもカスタムマップとして 読み込めないことがあります。

doc.kmlはテキストファイルなのでメモ帳で開いて編集することが出来ます。 custom_map.jpgの画像に何か描き込んで保存し、再度zipで圧縮して拡張子をkmzに変 えればジオグラフィカで読めるようになります。



ファイル→一括キャッシュ

					ー括キャッシュの保存方法は <u>『一括キャッシュ』</u> をお読みく -
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・<	回 日時 ユ 一 覧				ださい。
◎ 大自用	т	0.0	ЗМВ	0	
			100%	, •	∋ジャンプボタン
⊘ 大菩薩	產領	€ (100%	, 📀	
💿 大菩薩	產嶺	9 (1MB 100%	, 📀	一括キャッシュしたエリアの地図を表示します。
⊘ 八王子	子市	90	488K 100%	B 🕖	
⊘ 十島村	ব	9 (6MB		♥ ダ ワンロートホタン
◎ 大岳山	4	9 (14ME	3	ー括キャッシュを再ダウンロードします。途中の場合は足
💿 葛西		•	11ME		らない分をダウンロードします。100%までダウンロード済
◎ 磐梯山	Ц	€ (6MB	0	みの場合は、中身を削除して再ダウンロードします。
📀 高宕山	Ц	90	1MB 35.1%	6	洋細ボタン
⊘ 高宕山	Ц	9 (1MB	, 📀	
					▶ 括キャッシュの詳細情報を表示します。
		(\bigcirc	(\mathbf{X})	
名前	大岳山			0] 一括キャッシュ詳細画面
タイル数:!	575枚 / 575	枚			
X:226	淡色地図			0	各行をタップすると正方形の画像データが表示されます。
Y:100	灰白地因 Z:8	70K	В	V	これが地図タイルです。無数の地図タイルが集まって
X:453 _{Y:201}	淡色地図 Z:9	97K	В		
X:907	淡色地図 Z:10	66K	в		キャッシュデータを作っています。
X:1815	淡色地図 7:11	111	P	•	
X:3631	Z-11 淡色地図	41K	D)/5权/5/5权
Y:1611 X:7262	Z:12 淡色地図	40K	В	0	
Y:3223	Z:13 ※色地図	21K	В		
Y:6445	波巴地区 Z:14	11K	В		
X:14523 ^{Y:6446}	淡色地図 Z:14	7K	В		B
V-14522	淡色地网			-	

ダウンロードボタン

地図タイル1枚単位で再ダウンロードします。壊れている地図タイルがあったら再ダウン ロードしてください。

名前の変更

ー括キャッシュの名前は、上部の『名前』欄を変更して ボンを押して前の画面に戻れ ば反映されます。

ファイル→図形



図形を表示すると地図上に手書きの書き込みや直線、 円、多角形などの図形を表示することができます。

図形ファイルはgeojsonとkmlに対応しており、それらが まとめて入っているzipファイルやkmzファイルも読み込 めます。

図形ファイルは<u>コラボマップ</u>で作ることができます。また、 <u>地理院地図</u>や各種GISツールで作った図形も読める場 合があります。ただし、完全に再現することはできないか も知れません。コラボマップの図形は、私が開発してるこ ともあり比較的再現性が高くなっています。

表示/非表示の操作は他のファイル種別と同じですが、 地図上で長押しから非表示という操作はできないので、 表示/非表示は図形一覧から行います。

また、図形ファイルにマーカー、トラック、写真などの データが入っていた場合、それらの表示/非表示は図形 ファイルと連動します。

57

ファイル→写真

写真については<u>ジオグラフィカクラウドの章</u>で説明します。写真機能を使うにはクラウドへのログインが必要です。

ファイル→バックアップとデータの移行



機種変をした場合はジオグラフィカのデータを旧端末 から新端末にコピーする必要があります。ただし、 iPhoneなら端末丸ごとのバックアップと復元でジオグ ラフィカ内のデータもコピーされるため、バックアップ ファイルを使う必要が無いことが多いです。Android は機種とOSのバージョン次第でデータ移行が必要で す。

機種変をしないときでも、たまにバックアップファイル を作っておくとスマホを無くしたり壊したりした時の

データロストを避けられます。

バックアップファイルを作る手順

- 1. [メニュー]→[ファイル]→[バックアップ]を開く。
- 2. 『バックアップ』ボタンを押してバックアップファイルを作成(拡張子は.dbです)
- 3. DropboxやGoogleドライブに保存する。

バックアップファイルをジオグラフィカに読ませる手順

- DropboxやGoogleドライブを開き、バックアップファイルをエクスポートする(エクスポート 手順はアプリや機種によって違います)。
- エクスポート先にジオグラフィカを選び、インポートさせる(進捗グラフが表示されて読み 込まれます)。

上記手順でマーカー、トラック、ルートのデータはコピーできます。 地図のキャッシュやカス タムマップ、図形はデータサイズの問題から移行できません。

■各種ファイルのインポート操作

ジオグラフィカはgpx、kml、geojson、kmz、zip、db(バックアップファイル)などのファイルを 外部から取り込んで利用することができます。

インポートの操作



読み込まれたファイルは、内容を確認してトラック(gpx,kml)、マーカー(gpx)、ルート(gpx)、 写真(gpx)、図形(zip,kml,geojson)、バックアップ(db)、カスタムマップ(kmz)などに振り分け て処理します。

なお、トラックとマーカーが同居するgpxファイルや複雑な形式の図形ファイルなど、こちらが想定していないファイルは現在のところ正しく読み込めません。

61

コラム 補足リンク集

ジオグラフィカの使い方を学習するために役立つリンクをご紹介します。

ジオグラ先生

https://chatgpt.com/g/g-WWS9GI66I-siokuraxian-sheng

ジオグラフィカの教科書など、ジオグラフィカに関する情報を学習した、開発者の次に詳しく知っているAIです。利用にはChatGPTへのログインが必要です。

印刷用説明書(32ページ)

http://geographica.biz/download/map_and_geographica.pdf

最低限のジオグラフィカの使い方と読図について解説した簡易版の説明書で

す。小冊子印刷をすると紙8枚で冊子になります。

動画 シ゛オク゛ラフィカの基本的な使い方

https://www.youtube.com/watch?v=NIL663LRtCc

基本的な使い方について解説した動画です。まずはこの内容を理解するところ から始めるといいのではないかと思います。







ジオグラフィカの動作は設定でカスタマイズすることが出来ます。設定はメニューの[設定] で開くことが出来ます。設定項目ごとに分かれているので、ここでは設定メニューの種類ご とに説明していきます。

一般設定

一般	タップ音/ボタンバイブ(推奨:オフ)
タップ音	オンにするとボタンを押した時に効果音が鳴るように
コンパス警告	なります。オフでいいです。
ローバッテリー警告	
二本指で地図を回転	コンパス警告(iOSのみ 推奨:オフ)
標高タイルを読み込む (地理院地図のみ)	オンにすると電子コンパスが狂っていそうな時に警
確認ダイアログを[いいえ/はい]の並びにする	告が表示されます。
カーソルの向き コンパス GPS	
現在地カーソル	ローバッテリー警告(推奨:オン)
GPS 精度 精度優先 省エネ	オンにすると、スマホのバッテリー残量が15%を切っ
現在地送信先 @gmail.com	た時に音声で警告します
重量設定体重 (kg):77kg 荷物 (kg):7kg >	

二本指で地図を回転(推奨:オフ)

オンにすると、二本指で地図を回転できるようになります。北がどっちか分からなくなりがちなのでオフでよいでしょう。

標高タイルを読み込む(推奨:オン)

オンだと日本国内で国土地理院の標高タイルデータを使用します。地図をキャッシュしてお けばオフラインでも任意の地点の高度を取得できます。 確認ダイアログを[いいえ/はい]の並びにする(推奨:オン)

ジオグラフィカは当初、Windowsのダイアログのボタン配置に習って、左が「はい/YES」で 右が「いいえ/NO」の並びにしていました。後にスマホの標準的な配置に習って右が「はい /YES」にしましたが、これをオフにすると当初のボタン配置になります。

カーソルの向き(推奨:コンパス)

自分の位置を示す赤い矢印の向きを電子コンパス連動か、GPSの移動方位にするかの設 定です。通常はコンパスがよいでしょう。ただし、磁気を帯びた乗り物内で継続的に使う場 合はGPSの方が見やすいかも知れません。

現在地カーソル(推奨:大)

自分の位置を示す赤い矢印の大きさを指定します。昨今のスマホは画面が大きいので、矢 印も大を使うと見やすいと思います。

GPS精度(推奨: iOSは省エネ、Androidは標準)

スマホのGPS精度を設定します。通常は初期設定のまま使ってください。精度が悪い場合 は設定を変更して様子を見てください。スマホの測位精度は本体の性能、本体の省エネ設 定などによって変化します。一般的にiPhoneは安定して高精度です。Androidは機種次第 です。どうしても精度が上がらない場合は、スマホの性能として諦めてください。

現在地送信先

座標バナーを長押しして現在地座標をメール送信する際のメールに自動で設定されるメー ルアドレスです。設定しておくと毎回のアドレス入力を省けます。カンマ区切りにすれば複 数のメールアドレスを設定できます。

重量設定

トラックのカロリー計算に使います。体重と荷物の重さを設定してください。

Androidのみの一般設定

ナビゲーションバーを隠す(Androidのみ 推奨:オフ)

画面が小さめの古いAndroidのための設定です。画面下部のナビゲーションバーを出来る だけ隠して画面を広くする機能です。

DOZEモードを無効化する(Androidのみ 推奨:オフ)

スマホの省エネ設定が強くてトラックの記録が途切れがちな場合はオンにしてください。

近接センサーで画面を消灯(Androidのみ 推奨:オフ)

DOZEモードを無効化してもスマホの省エネ設定を確認しても、それでもトラックの記録が 途切れる場合はオンにしてみてください。オンにすると、スマホをスリープにしなくてもポ ケットなどに入れると画面が消灯します。画面が消灯してもアプリが動き続けるのでトラック の記録が途切れにくくなります。

ジオイド高補正(推奨:オン)

通常はオンにしておきます。『標高』は海面からの高度差で、基準面は地域によって違いま す。Androidのシステムから渡される高度データは回転楕円体を基準にしているため『標 高』とはズレがあります。そのズレを補正するのがこの設定です。特殊なGPS機器と併せ て使う場合はオフにします。

画面の向き(推奨:縦固定)

Android版は画面を横にして使うこともできます。初期設定は縦固定です。スマホで横表示 にするとボタンが押しにくくなるので横表示は推奨しません。

ストレージ(Androidのみ 推奨:本体) 地図データを保存する場所として使用するストレージを設定します。スマホにSDカードが

64

入っていると、本体ストレージかSDカードを選択できます。SDカードは本体ストレージと比べてアクセスが非常に遅いので、本体を推奨します。

表示設定

表示							
下地に Google Map を表示する							
座標の精度によ	座標の精度によって文字の色を変える						
最高倍率地図を	非使用						
選択ボタンの色	を強調						
座標形式	度 度分秒 UTM	MGRS 度分					
距離単位	メートル マイ	ル海里					
高度単位	x-FJL	フィート					
スケール	なし十字四角	角 円 単線					
スケールの線	太さ:1 a:61%	>					

下地にGoogleマップを表示する(推奨:オン) ジオグラフィカは複数種類の地図データを重ねて表 示していますが、これをオンにするとGoogleマップ の情報も表示されます。

左下の地図画像のうち、赤い矢印で示している、ピ ンの左側に名前が書かれているものはGoogleマッ プの情報です。緑色の山アイコンはジオグラフィカで 作ったマーカーです。Googleマップのピンはタップし ても長押ししても何も起こりませんし、位置が間違っ ていることもあるので注意してください。

座標の精度によって文字の色を変える(推奨:オン) オンにすると、座標バナーの文字の色が測位精度と 連動します。オフにすると黒で固定されます。

最高倍率地図を非使用(推奨:オン) 国土地理院の地形図はズームレベルを上げると、そ れまでの地図よりも線が細く表示されます。やや見

づらいので、その地図を使わない設定として入れました。

選択ボタンの色を強調(初期設定:オフ)

オンにすると、メイン画面右に並んでいるボタンの色が黄色か赤に変わります。色覚異常で黄色と黄緑が見分けにくい方はオンにしてください。

座標形式、距離単位、高度単位

座標、距離、高度で使う形式や単位の設定です。好みに応じて変えてください。

スケール、スケールの線(初期設定:単線 黒 太さ:2)

メイン画面に表示される距離スケールの種類と線の色、太さを設定します。見やすいもの を選んで設定してください。



キャッシュ設定

表示キャッシュの設定です。指定した期間と容量を越えたものをジオグラフィカの起動時に 自動で削除します。

キャッシュ					
期間	1週間 2週間 1ヶ月	無制限			
容量	200M 500M 1GB 5GB	無制限			
現在の容量	55%	_276MB			
表示キャッシュをクリアする					

期間(初期設定:1ヶ月) 表示キャッシュの保存期間です。1ヶ月間使用 されなかった表示キャッシュはアプリ起動時に 自動で削除されます。

容量(初期設定:200MB)

保存できる表示キャッシュの容量です。日帰りで歩ける範囲の表示キャッシュで容量が 30MB程度です。200MBあれば毎週日帰り登山をする人でも1ヶ月程度前の表示キャッ シュが残っている感じになります。5GBや無制限など、極端に大きくしすぎると地図が改訂 されてもいつまでも古いものが残ってしまいます。200~500MB程度に設定しておくと、適 当に地図が消えて入れ替わります。

現在の容量

現在のキャッシュ容量です。設定を溢れた分はジオグラフィカの起動時に削除されるため、 一時的に指定容量を超えて保存されることがあります。

表示キャッシュをクリアする

この部分を押すと、確認後に表示キャッシュがクリアされます。スマホのストレージ容量が 少ない時は表示キャッシュを削除して、適切な容量を設定してください。

トラック設定



記録タイプ(推奨:自動)

時間、距離、自動の3タイプから選べます。時間と距離にすると、下の記録頻度を時間また は距離で設定できます。自動は時間と距離の両方を使います。

記録頻度(推奨:標準)

時間または距離はそのまま、指定した時間や距離によってトラックポイントを追加していき ます。自動にすると距離と時間の両方を使います。頻度:標準で、45秒経ち、45m移動した 場合に記録します。45m移動していない場合は90秒ごとに記録します。頻度を『細』にする と、22.5秒と22.5mになり、『粗』にすると、90秒と90mになります。登山の場合は『標準』で よいでしょう。 記録トラック(初期設定:紫)/既存トラック(初期設定:赤)

それぞれのトラックの線の色、透明度、太さを設定できます。

ログの高度を標高タイルから取得(推奨:自動切替)

スマホの機種によっては高度の測位精度が低い場合があります。そのため、ジオグラフィ カでは高度の数値を国土地理院の標高タイルから取得する機能があります。この設定を 『自動切替』にすると、地表にいると判断される場合に標高タイルの高度データを使用しま す。

標高タイルのデータとGPSの高度を比べて、GPSの高度が著しく高く、高速で移動してい る場合は空を飛んでいると判定してGPSの高度データを使用します。ただし、ビルの上層 階にいる場合も地表の高度が使われてしまいますし、低空飛行の場合は地表の高度が使 われてしまいます。それでは困る場合は、この設定を『しない』にしてください。逆に登山な ど地表での活動にしか使わないのであれば『常に』にしても構いません。

インポートで間引く(推奨:オン)

トラックをGPXやKMLで外部からインポートする際に、トラックポイントが多すぎる場合は適 当に間引きます。あまりに巨大なトラックデータはスマホで扱うには重いため、適当に間引 いたほうがアプリが安定して動作します。不安定になる可能性があっても巨大なトラックを そのまま読み込ませたい方はオフにしてください。

トラックアイコンを非表示(推奨:オフ)

オフの場合、トラックをメイン画面に表示したとき、スタートとゴールにSとGのアイコンを表示します。単に線だけ表示したい場合はオンにしてください。

停止後トラック画像作成(推奨:オン)

オンの場合、トラックの記録を停止した際に、自動でトラック画像を生成します。生成された

トラック画像はスマホの写真アルバムに保存されます。生成した流れでSNSに投稿することもできます。

高度のノイズが多い場合均す(推奨:オン)

記録したトラックログの標高データが過度に上下していると累計標高が大きくなりすぎてしまいます。オンの場合、そのようなデータと判断された場合は前後の標高データを使って標高の値を平均化します。結果として平均化前より少ない累計標高になります。



近接でロック解除(推奨:オン) オンの場合、ロックオンしたマーカーに近づくと到 着判定が行われて自動でロックが解除されます。 条件は、『20m以内に近づくか、80m以内に近づ いたあとに遠ざかる』です。

マーカーを自動表示(推奨:オン)

オンの場合、ジオグラフィカ内に保存されたマーカーで表示している地図内にあるマーカー を読み込んで表示します。ジオグラフィカの初期のバージョンは、マーカー1つずつの表示/ 非表示をユーザーが手動で切り替えていました。その頃の名残の設定です。通常はオンに して使ってください。

ラベル表示/下部ラベル(推奨:すべて)



ジオグラフィカのマーカーは、アイコンの種類によって ラベルを表示するか、表示するラベルの内容はどうす るかを決めています。『自動』にするとジオグラフィカ の仕様に基づいて決定します。ラベルを表示するアイ コンは、『絵文字マーカー、山、S、T、G、小屋、バス 停、注意、駅、飛行機、動物、茸、鳥、禁止、山菜、 花、魚』です。菱形 やピン のアイコンはラベル 表示しません。それらの、イコンでもラベル表示した いなら『すべて』を選んでください。
ルート設定



トラックリンク(推奨:オン)

ルート案内の開始時と停止時にトラックロ グの開始と停止も行います。トラックログの 開始忘れ、停止忘れを防げるためオンを推 奨します。

ルートライン(初期設定:赤)

ルート案内の際にルート内のマーカーを結 ぶ線の色、透明度、太さを変更できます。 到着アラーム(推奨:音声)

ルートの目的地に到着した時のアラームを設定します。『なし』にすれば何も音は鳴らしま せん。『効果音』にすると「ピンポーン」という音だけ鳴らします。『音声』にすると、次のマー カーまでの距離、高度差、到着予想時間などを音声でアナウンスします。

時間表示(推奨:時刻)

ルート案内中にマーカーの右に表示される時間の表示内容を設定します。『累計』にする と、分数の累計が表示されます。現在地に近いマーカーから増えていくのでゴールのマー カーに表示される分数が一番多くなります。『区間』にすると各マーカー間の区間分数が表 示されます。『時刻』にすると各マーカーへの到着予想時刻が表示されます。

ルート案内における時間の注意点

ルート案内やマーカーのロックオンで計算される時間は、現在地からマーカーまでの直線 距離を1.3倍した距離と高度差、傾斜から計算します。マーカー間にコル(鞍部)がある場 合でも、最低地点にマーカーがない場合はコルに降りて登り返すという計算にならないた め時間が短く計算されます。もし正確に計算したいのであれば、大きな登り返しがあるよう なコルでは最低点にもマーカーを作ってください。面倒であれば、時間が短めに出ることを 自覚した上で使ってください。 休憩時間/ラッセル補正/歩行速度(推奨:普通/なし/普通) 歩くペースや条件を設定できます。主に時間の計算で使われます。

スピーチ設定

スピーチ		接近報告(
接近報告		マーカーを
インターバルスピーチ		にすると接
		す。例えば
スピーチ間隔	5分 10分 15分	
		を接近報告
シェイクスピーチ		です。この
シェイク感度	敏感 普通 鈍感	ラックログ(
		- + +

接近報告(初期設定:オフ) マーカーを作る時に『接近報告』をオン にすると接近報告マーカーになりま す。例えば鎖場や道迷いポイントなど を接近報告マーカーにしておくと便利 です。この接近報告をオンにすると、ト ラックログの記録中は近くに接近報告 マーカーが無いかチェックするように

なります。接近報告マーカーを使うならオンにしてください。使わないならオフにしてください。

インターバルスピーチ/スピーチ間隔(推奨:オン 10分)

オンにするとジオグラフィカがバックグラウンドで動いている間、指定した時間ごとに状況を 音声で読み上げます。タイマーはスマホがスリープになった時から始まり、スリープが解除 されるとリセットされます。よって、頻繁にジオグラフィカの画面を確認していると読み上げ が実行されません。

シェイクスピーチ/シェイク感度(初期設定:オフ)

オンにすると、スリープ中のスマホを振ることで状況を読み上げるようになります。雪山など スマホの操作が億劫な場合に使うことを想定しています。ただし、スマホに振動が伝わると 読み上げるので、下山時など振動しやすい状況ではうるさいかも知れません。その場合は 設定をオフにするか、感度を鈍感にしてください。

スピーチ内容

スピーチ機能で読み上げる内容を設定します。

スピーチ内容		時刻(推奨:オン)
時刻		現在時刻です。
座標	\mathbf{O}	座標(推奨:オフ)
高度		経緯度などの座標です。
速度	\mathbf{O}	高度(推奨:オン)
ルート情報		現在地の高度です。
登高速度		速度(推奨:オフ)
お知らせ		現在の速度です。

ルート情報(推奨:オン)

ロックオンしたマーカーかルート案内で目指しているマーカーまでの距離、高度差、到着予 想時刻です。

登高速度(iOS:オン Android:オフ)

1時間に何mの上り下りが出来るペースか、直近のログから計算した数値です。一般的に は上りが1時間に350m前後、下りが1時間に500m前後です。

お知らせ

毎時0分の時報、歩行距離1kmごと、標高100mごとにお知らせを読み上げます。乗り物に 乗っていて読み上げ過ぎな場合はオフにしてください。

クラウド関連の設定

クラウド関連の設定については<u>ジオグラフィカクラウドの章</u>で解説します。

機能制限	解除
■解除後	ノわります
 ・トラックの記録回数制限がな ・表示キャッシュの容量は200 	くなります。 MB、500MB、1GB、
5GB、無制限で選択出来ます(解除前は200MBの
み)。 ・一括キャッシュの回数制限が	なくなります。
・一度に3,000枚までダウンロ	ード出来ます。
・クラウド機能の制限が緩和さ	れます。
価格:¥1,900	() 購入する
既に購入されている方は、下の	『リストア』ボタンを
押して下さい。料金はかかりま	せん。
גע 🕑 או	トア

機能制限解除

ジオグラフィカにはいくつかの機能制限があり、それらは『アプリ内課金:機能制限解除』を購入すると解除されます。

- トラックログの記録回数
- 表示キャッシュの容量制限
- 一括キャッシュの枚数と回数制限
- ジオグラフィカクラウドの個人ストレージの容量 制限
- クラウドグループの参加グループ数制限

[設定]→[制限解除]を開くと左のような画面が表示されます。

『購入する』ボタンを押すと支払い手続きの画面になります。指示に従って支払ってください。課金が成功すると価格の部分と『購入する』ボタンに『購入済み』と表示されます。

以前購入済みで機種変をした場合

Android版:購入したときと同じアカウントでスマホを使っていれば、ジオグラフィカをインストールして起動した時にライセンスの有無を確認して自動で制限が解除されます。

iOS版:購入したときと同じAppleIDを使っていれば追加料金無しで制限を解除できます。 [設定]→[制限解除]を開いて「リストア」を押してください。ライセンスがあれば課金処理なし で解除されます。解除されると、機能制限解除の画面に『購入済み』と表示されます。



よくある問題と注意点

- AndroidからiOS、iOSからAndroidなど、プラットフォームが変わると再課金が必要です。違うプラットフォームは課金情報を照会できないからです。
- 同じプラットフォームでの機種変や再インストールでも、スマホのアカウントが違え ば再課金が必要になってしまいます。課金したアカウントを使ってください。
- この機能制限解除は月額課金ではありません。1回だけの買い切りです。システムの仕様上、月額課金も二重の課金も不可能です。そう思ったとしたら勘違いなのでよく確認してください。
- 1つのアカウントに対して機能制限解除の課金を出来るのは1回だけです。もしライセンスが無いのなら、以前の購入は失敗したかキャンセルされています。Android版は機能制限解除画面の『GooglePlay注文を確認』ボタンで以前の注文が正常に完了しているか確認してください。



• 課金後の返金は出来ません。

■ツールメニュー

ここまでで解説していない機能を解説していきます。[メニュー]→[ツール]で画像のようなメ ニューが開きます。



X

QR読み込み

QRコードをカメラで読み取れます。iOSの機器なら標準のカメラアプリでQRコードを読めま すが、Androidは機種ごとにQR読み取り機能に差異があるためジオグラフィカ内でもQR コードを読み取れるようにしました。

検索/現在地を共有

メイン画面の座標バナーをスライドさせると検索窓が出てきます。座標バナーを長押しする と現在地の座標を共有できます。これらの機能は見た目では呼び出し方が分かりにくいた め、ツールメニューにも入れました。

デモモード

トラック一覧		好きな
猿橋駅→九鬼山→高畑山→鳥沢駅 2023-08-11 20:01:54	503	です。
大室山 2023-08-10 12:22:22	21	動に彷
大菩薩 P4 のコピー ^{2023-08-09 19:56:36}	316	トラップ
塩沢甚助窪 i12P のコピー 2023-07-22 08:36:55	440	「
大菩薩 P4 2023-08-09 19:56:36	316	
大菩薩周回唐松尾根コース 2023-08-07 15:27:04	367	
大菩薩周回コース 2023-08-07 15:27:04	307	
大岳沢 i12P 2023-08-06 08:53:37	248	
大菩薩 i12P 2023-08-04 09:06:02	328	
高水三山P4 2023-07-21 17:16:36	233	
● 甲斐大和 → 滝子山 → 初狩駅	468	ボ
		と、セン

好きな状態のスクリーンショットを作るための機能 です。表示されているトラックを押すと、トラックの移 動に従って現在地の矢印が移動していきます。 、ラックではなく、左下の現在地ボタン を押すと





ボタンを押す

と、センターマークの位置に現在地の矢印が表示さ

れます。マニュアルや記事を書きたいときのスクリーンショットを作るための機能です。

■地図メニュー/オーバーレイメニュー



表示する地図と、地図の上に重ねるオーバーレイを選択します。通常は、淡色地図+陰影 起伏図がよいでしょう。海外では地図をOpenTopoMapかOpenStreetMapにして、オー バーレイは無しがよいでしょう。オーバーレイはチェックが付いている行を押すとチェックが 消えます。



各種地図やオーバーレイはそれぞれ特徴があり ます。興味がある方は切り替えて試してみてくだ さい。淡水湖で釣りをする方は湖沼図、湖沼デー タ(左の画像)が便利だと思いますし、火山の細 かい地形を見たい方は火山基本図、火山基本図 データが便利でしょう。

80



淡色地図+陰影起伏図

火山基本図データ+陰影起伏図



淡色地図+赤色立体地図(©アジア航測)

OpenTopoMap

モント ラン %デ



淡色地図+雪崩傾斜タイプB 雪崩のリスクと傾斜の角度を見やすく処理したものです。



淡色地図+傾斜量区分図 傾斜を色分けして見やすくしたものです。

カスタムタイル



地図とオーバーレイメニューの下の方に『カスタムタイ ル』というものがあります。地図とオーバーレイそれぞ れに5項目用意されており、設定が分かるならばジオ グラフィカ側で対応していない地図を表示することが 出来ます。

地図タイルの設定

各カスタムタイルの右にある歯車ボタン カスタムタイルの設定画面が表示されます。設定項目 は名前、著作権表示、URL、最大ズームレベル、基準 点、色変換、標高タイル(地図のみ)、不透明度です。

名前と著作権表示は適切なものを設定してください。

URL

地図データにアクセスするために必要な、地図データの在り処を示すテキストです。例えば 淡色地図は下記のようなURLを使います。{z}/{x}/{y}の部分が地図の座標やズームレベル などに置き換えられて該当地図データとして読み込まれます。

https://cyberjapandata.gsi.go.jp/xyz/pale/{z}/{x}/y}.png

このURLをどこから手に入れるかと言うと、国土地理院の地図なら<u>『地理院タイル一覧』</u> (<u>https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html)</u>というページに載っています。以前ジ オグラフィカで使えた『限定地図』を使いたい場合は、<u>thunderforestのページ</u>

(<u>https://www.thunderforest.com/</u>)でサインアップして「Tile Layer URLs」に載っている URLを使えば様々な地図を使えます。

API Keys		
API Key		
Tile Layer URLs		
OpenCycleMap	https://tile.thunderforest.com/cycle/{z}/{x}/{y}.png	ap
Transport	$\label{eq:https://tile.thunderforest.com/transport/{z}/{x}/{y}$	pn
Landscape	$\label{eq:https://tile.thunderforest.com/landscape/{z}/{x}/{y}$	pr
Outdoors	$\label{eq:https://tile.thunderforest.com/outdoors/{z}/{x}/{y}.$	ing
Transport Dark	https://tile.thunderforest.com/transport-dark/{z}/{x	/{
Spinal Map	$https://tile.thunderforest.com/spinal-map/{z}/{x}/{y}$	- P
Pioneer	$\label{eq:https://tile.thunderforest.com/pioneer/{z}/{x}/{y}.pdf = 100000000000000000000000000000000000$	g?
Mobile Atlas	$\label{eq:https://tile.thunderforest.com/mobile-atlas/{z}/{x}/{x} = \frac{1}{2} + \frac{1}{2$	y}
Neighbourhood	$\label{eq:https://tile.thunderforest.com/neighbourhood/{z}/{x}.$	٥.
Atlas	https://tile.thunderforest.com/atlas/{z}/{x}/{y}.png	ap

最大ズームレベル

地図やオーバーレイを表示する際に、サーバー側で用意されているズームレベルの最大 値です。地理院タイルー覧にはズームレベルの項目に書かれています。分からなければ、 地図なら17、オーバーレイなら15にしておけばよいでしょう。

基準点

通常は北西(左上)です。たまに南西(左下)のものがあります。例えば今昔マップは南西 基準です。大抵はURLを例示するページに書いてあるのでチェックしてください。

色変換

ごく稀に見づらい色で作られたオーバーレイタイルがあります。そういうタイルを使う時は白 →赤や黒→赤などで変換してください。

標高タイル(地図のみ)

日本国内で使う場合はオンにしてください。地図を読み込む際に標高タイルも読み込みま す。海外でも使う場合はオフにしてください。

不透明度

オーバーレイは適当に半透明にしてください。地図を半透明にすると、Googleマップが透けて見えます。例えば古地図系の地図タイルを設定すると、現代のGoogleと古地図を重ねて見ることができます。

設定を共有

うまく設定できると、これまでジオグラフィカで使えなかった地図やオーバーレイを使えるようになります。ただ、この設定を毎回手で行うのは面倒なので簡単に共有出来るようにしました。『設定を共有』ボタンを押すと、カスタムタイルの設定内容をURLかQRコードに変換することが出来ます。下記に例示します。これをジオグラフィカが入っているスマホで開くと、1945年の空中写真を設定できます。



https://geographica.biz/l/cl_setting?type=0&name=%E7%A9%BA%E4%B8%AD%E5%86%99%E7%9C%9F1945 %E5%B9%B4%E9%A0%83&cp=%E5%9B%BD%E5%9C%9F%E5%9C%B0%E7%90%86%E9%99%A2&url=htt ps%3A%2F%2Ecyberjapandata%2Egsi%2Ego%2Ejp%2Exyz%2Fort%5EUSA10%2F%7Bz%7D%2F%7Bx%7D %2F%7By%7D%2Epng&mz=17&bp=0&op=68&alt=1&cc=0

■ジオグラフィカクラウド

ジオグラフィカクラウドで出来ること

- 個人ストレージに各種ファイルを保存できます。
- トラックログの記録後、続いて個人ストレージにアップロードします。
- カメラ機能を使うことが出来ます。写真は個人ストレージにアップロードされます。
- 複数のユーザーでグループを作り情報共有することが出来ます(グループデータリンク)。メッセージ、位置情報、写真、マーカー、ファイルをリアルタイムに共有出来ます。

クラウド機能を使うための準備(ユーザー登録とログイン)



クラウド機能を使うためには、まずユーザー 登録が必要です。[メニュー]→[ログイン/登 録]を押すとメニューが表示されるので『ユー ザー登録』を選んでください。背景が黄色い ユーザー登録画面が開きます。





メールアドレス

有効なメールアドレスを間違えないように確実に入力してください。ユーザー登録後、その メールアドレスに認証メールが送られます。認証メールを受信してリンクを開かないとアカ ウントは有効になりません。

パスワード

ログイン用のパスワードを設定してください。忘れるとログインできません。忘れないよう に、入力後にスクリーンショットを撮るかメモしておいてください。パスワードは予想しにくい ように数字や記号が混じった、ある程度複雑なパスワードを考えて下さい。

「例)AnkoNo469daNgo*+」など。←例なので、自分で考えて下さい

ニックネーム

自分の名前です。主にグループ機能で使われます。分かりやすいニックネームを設定して ください。設定したニックネームを後で変更することは出来ません。よく考えて設定してくだ さい。

利用規約に同意ボタン

ボタンを押すとブラウザアプリが起動して利用規約が表示されます。内容に納得したらジオ グラフィカに戻ってユーザー登録ボタンを押してください。



ユーザー登録ボタン

ユーザー登録をします。『利用規約に同意』ボタンを押さな いとこのボタンは押せません。成功すると

noreply@geographica2-9683d.firebaseapp.com

から「ジオグラフィカクラウドの認証メール」というタイトルの

認証メールが届きます。しばらく待っても届かない場合は迷

惑メールフォルダを確認してください。本文中のリンクを開く

と認証完了です。ジオグラフィカに戻ってログインしてくださ

い。

ユーザー登録で大事なこと!

- ユーザー登録は1回だけ行って下さい。
- メールアドレスは正しいものを入力して下さい。
- パスワードを忘れないで下さい。
- 認証メールが届いたらリンクを開いて認証して下さい。
- 難しければ諦めてください。

ログイン



ユーザー登録が成功したら、[メニュー]→[クラウド]→[ログイン/登録]からログインを選 んでください。

ログイン
メールアドレス
パスワード
ログイン
閉じる
パスワードを忘れた

メールアドレス/パスワード 登録したメールアドレスとパスワードを間違 えないように入力してください。パスワード は伏せ字にならないようになっています。横 から他人に見られないように注意してくださ い。伏せ字にすると入力しにくいので、敢え てこの様な仕様になっています。ジオグラ フィカのユーザーは年齢層が高いためで す。 ログインボタン

メールアドレスとパスワードを入力したらログインボタンを押してください。間違いが無けれ ばログインできます。ログインできないとしたら、ユーザー登録が出来ていないか、メールア ドレスまたはパスワード、もしくはその両方が間違っています。よく確認してください。

パスワードを忘れた



入力したパスワードを見られるようにして入力し、SAVEボタンを押して確定してください。

ユーザー登録やログインが出来ない場合の対処方法

- メールアドレスとパスワードをよく確認して下さい。
- 認証メールが届かない場合は、メールアドレスが間違っているか、認証メールが迷惑メールフォルダに入っています。よく確認して下さい。
- ログイン出来ない場合は、十中八九メールアドレスかパスワードが間違っています。よく確認して下さい。

- 稀にネットワークが遅くてログイン出来ないことがあります。ネットワークが速い場所 (街や家のWi-Fi)でログインして、ログインしたままにしておいてください。基本的に ログアウトする必要はありません。
- オフライン環境でログアウトすると再ログインできません。オフライン環境ではログ
 アウトしないでください。

パスワードを変更したいとき

パスワードを変更したい時は、[メニュー]→[クラウド]→[ログアウト]でログアウトしてからロ グイン画面を開いて『パスワードを忘れた』ボタンで再設定メールを送ってください。再設定 メールが届くので新しいパスワードを設定してください。

諦めも肝心です

どうしてもユーザー登録やログインが出来ないのなら、クラウド機能の使用は諦めてください。ここで躓くようならクラウド機能を使いこなすことは出来ません。クラウド機能は便利ですが、理解できないのであれば情報漏洩などのリスクも生みます。分からないものは使わないのが安全です。

個人ストレージ

個人ストレージの機能

個人ストレージは、自分のファイルをバックアップ的に保存しておく場所であると同時に、自 分のファイルを他のユーザーに共有するための置き場所でもあります。上手く活用して情 報共有に役立ててください。

アップロード手順

ログインしてすぐに個人データを開いても中身は空っぽです。ファイルをアップロードすると 個人ストレージのデーター覧に表示されるようになります。

ただし、アップロードはスマホがネットにつながっている状態でしか行なえません。オフラインではエラーになります。

バックアップファイルのアップロード手順

- 1. メニュー→ファイル→バックアップを開く
- 2. バックアップボタンを押すとメニューが表示されます
- 3. 「クラウドにバックアップ」を選ぶ



これで個人ストレージにアップロード出来 ます。ただし、長年使っていてバックアップ ファイルが肥大化している場合は容量制 限に引っかかるかも知れません。その場 合は普通にDropboxなどにエクスポートし てください。

個人ストレージの容量制限は、機能制限解除をしている場合は100MBで、していない場合 (無料で使っている場合)は10MBです。 トラックログとルートのアップロード手順

- 1. メニュー→ファイル→トラックなど各種一覧を出します
- 2. アップロードしたいトラックやルートを一つだけタップしてチェックマークを入れます
- 3. 画面左下のチェックボタンを押して下さい
- 4. メニューから「個人ストレージにアップロード」を選んで下さい



トラックとルートは、1つだけチェックを入れたときにクラウドへアップロードできます。

マーカーのアップロード手順

 滝戸山 滝戸山 			
⊘日和田山 ● ● ●			
マーカーを処理			
削除			
フォルダーに移動			
表示する			
エクスポート			
メールに添付する			
個人クラウドにアップロード			
グループクラウドにアップロード			
キャンセル			

マーカーは、マーカー一覧で複数チェックして画面左 下のチェックボタンを押せば「マーカーセット」という、 複数のマーカーを束ねたGPXファイルが作られま す。それを個人ストレージにアップロードできます。 なぜマーカーだけ複数チェックからマーカセットという ものを作れるのか?それは、トラックやルートと比べ てデータの量が少ないからです。というか、内部的に はルートも複数のマーカーをまとめたものなので、実 質的には同じようなものだったりします。

個人ストレージの使い方

ログインしています:keiziweb@)gmail.com	
バックアップ		
geographica_iPhone13,3_202 2023-07-26 17:30:36	230726 21.2MB	[メニュー]→[クラウド]→[個人ストレージ]を開くと、 個人ストレージに保存されているファイルー覧が
マーカー		
クラウドで共有 2022-12-03 12:34:14	2.2КВ	表示されます。ハックアッノ、マーカー、ルート、与 「 」 「 」 「 」 こ ら こ とに表示されます
第一岩峰取り付き 2022-06-03 15:31:42	6.8KB	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)
八王子市 2022-06-02 10:44:21	1.0КВ	されます。
		大菩薩周回唐松尾根コース
長渕丘陵 2022-12-04 06:21:09	4.8KB	
渋谷テスト 2022-12-01 15:17:22	1.6КВ	タウンロード
高尾山6号路 2022-11-30 15:15:31	1.7КВ	削除
サルギ尾根から大塚山 2022-11-28 12:12:55	3.0КВ	ジオグラフィカ共有リンクを取得
•		ジオグラフィカ共有リンク QR を表示
37.2MB/100.0MB		

ダウンロード

そのファイルをダウンロードしてジオグラフィカにインポートします。例えば、複数のスマホ やタブレットで同じアカウント(メールアドレス)でジオグラフィカクラウドにログインしている 場合、端末間のデータ共有を行えます。

削除

そのファイルを削除します。ゴミ箱機能はありません。

ジオグラフィカ共有リンクを取得

そのファイルのリンクを取得します。個人ストレージに保存されているファイルはランダムな ファイル名自体がパスワードとして機能し、ファイル名が分かれば誰でもダウンロードでき る領域に保存されています。そのファイル名をURLに埋め込むことで他のユーザーでもダ ウンロード出来るようにしています。例えばこの様なURLになります。ジオグラフィカがイン ストールされているスマホで開くと大菩薩嶺のトラックログがインポートされます。

https://geographica.biz/l/storage_dl?pHp9fEaFpSMdcLGxIUWXOpBeXjr2%2F96321D46-2857-4DE4-83F7-9EDCDC5B85B5.gpx%40d1b75879-527b-4e10-8189-14435bb5001b&name=%E5%A4%A7%E 8%8F%A9%E8%96%A9%E5%91%A8%E5%9B%9E%E5%94%90%E6%9D%BE%E5%B0%BE%E6 %A0%B9%E3%82%B3%E3%83%BC%E3%82%B9&type=2

ジオグラフィカ共有リンクQRを表示



上記共有リンクをQRコードにして表示します。この QRコードをメッセンジャーなどで送ったり、目の前 のユーザーに見せてスマホで読み取ってもらった り、プロジェクターで表示して講習などで読み取っ てもらうことでトラックを共有することが出来ます。 例えば左のようなQRコードになります。実際に読 むと上記と同じ大菩薩嶺のトラックがジオグラフィカ に読み込まれます。

共有を停止したいときは?

上記リンクやQRコードで共有したファイルの拡散を止めたい場合は、そのファイルを個人 ストレージから削除してください。それで自分発信の共有は止まります。(他のユーザーが 再共有したら、それは止められません) カメラ機能

ジオグラフィカクラウドにログインしていると、メイン画面の右下にカメラボタンが追加されま す。



画面下部の情報バナーには撮影可能枚数が表示さ れます。

カメラ機能で撮影出来るのは、機能制限解除を購入し た課金ユーザーで1日に24枚までとしました。無課金 ユーザーは1日に5枚までになっています。



撮影手順

カメラボタンを押すとカメラ撮影画面になります。初回は カメラの使用許可を求めるので、許可をしてください。普 通にシャッターボタンを押すと撮影されます。撮影が成功 すると確認画面に移ります。

メモ

写真に関するメモを残せます。近くにマーカーがあると自 動でマーカーの名前が入ります。



保存をキャンセルします。



画像の向きを時計回りに90°回転させます。



写真を保存します。

方位

写真の確認画面でスマホが向いている方角を変更すると、写真の下部に表示されている 方角と方位角も変化します。写真には撮影時の方角も記録されます。ちょうどいい角度に なるように調整してOKボタンを押してください。

グループ共有チェック



グループデータリンク中は、メモの下 にチェックボタンとグループ名が表示 されます。ここにチェックを入れて OKボタンをおここに手ェックを入れて 共有され、通信が繋がっていれば即

座にメンバーの地図上に表示されます。

後からグループで共有する場合

撮った時は共有してなくても、後でグループに共有することが出来ます。

- 1. 共有したいグループを選んでグループデータリンクを開始する
- 2. 地図上の写真アイコンをタップして写真を表示させる
- 3. メモ欄の下に共有チェックボタンが表示されているのでタップしてチェック
- 9. 更新ボタンを押す。これでグループに共有され、程なくメンバーのジオグラフィカに 表示されます。



写真の保存場所

写真はジオグラフィカ内に保存されますが、同時にスマホ本体の写真アルバム(カメラロー ル)にも保存されます。ジオグラフィカクラウドの個人写真領域にもアップロードされ、同じジ オグラフィカクラウドのアカウントでログインしてるスマホやタブレットがあれば自動で同期さ れます。



撮影済みの写真をジオグラフィカに取り込む スマホの写真アルバム(カメラロール)に保存され ている撮影済み写真をジオグラフィカに取り込み たい場合は、カメラボタンを長押ししてください。 撮影済み写真の一覧が表示されるので、取り込 みたい写真を選んでください。この時、写真に位置 情報が記録されていない場合はエラーになりま す。取り込みに成功すると、ジオグラフィカ内で撮

影した場合と同様、メモの追加や写真の回転が出来ます。



写真は地図上に表示されます

ジオグラフィカで撮影した、またはカメラボタン長 押しから取り込んだ写真は、写真に記録された 位置情報を元に、地図上に配置されます。 左の画像の、丸いアイコンがカメラ機能によって ジオグラフィカ内に保存された写真です。近くに ある写真アイコンと統合(クラター化)された場合 はアイコンに数字が表示されます。 それぞれの写真アイコンをタップすると詳細画面 が表示されます。



地図上のアイコンをタップして表示 地図上の写真アイコンをタップすると写真が表示され ます。 メモの変更 メモを書き換えたい時は、上部もメモ欄を書き換えて 『更新』ボタンを押してください。 QRコード 写真に表示されているQRコードを他のスマホなどで 読むと、そのスマホに入っているジオグラフィカに写 真が取り込まれます。 前後に移動

時系列的に次の写真を表示したいときは、画面下部 の矢印ボタンを押してください。

地図上で複数の写真が近くにあるとクラスター化さ

れ、アイコンに数字が表示されます。このアイコンをタップすると、複数の写真がグリッド表 示され、各写真をタップすると大きく表示されます。





タツ

すると写真が表示されますが、ここで各写真を長押しすると左の画像のようにチェックマー クが付きます。複数の写真にチェックを付けることが可能です。

画面左下のチェックボタンを押すとメニューが表示され、写真の削除や共有が出来ます。



ル共有アプリに送ったり、メールやメッセンジャー、LINEに添付して仲間に送ることも出来 ます。相手がGPXファイルを読むとジオグラフィカに取り込まれ、地図上にアイコンが表示 されます。

個人ストレージにアップロード

上記と同じ内容のGPXファイルを個人ストレージにアップロードします。個人ストレージに アップロードしたファイルは共有リンクや共有QRコードで不特定多数のユーザーに共有出 来るので、複数の写真をまとめて多数のユーザーに渡すことが出来ます。

グループクラウドにアップロード

上記と同じ内容のGPXファイルをグループにアップロードします。グループ内のメンバーに まとめて写真を共有したい時に便利な機能です。

地図上の写真アイコンを長押し

地図上に表示された写真アイコンを長押しするとメニューが表示されます。



写真情報をコピー

共有URLで写真データを共有します。写真の共 有情報が入ったテキストがクリップボードに入っ ているので、LINEなどに移動してペーストしてく ださい。

相手もジオグラフィカユーザーで、クラウド機能を 使っていれば、LINEのメッセージ内にあるURL をタップすることで写真が読み込まれます。

写真をQRで共有



QRコードで写真を共有することも出来ます。QRコー ドを表示して相手のスマホで読み取ってもらってくださ い。相手もジオグラフィカクラウドにログインしていれ ば、ほどなく地図上に写真が表示されます。 例えば、左のQRコードを読み取ると沢登りの写真が ジオグラフィカ上に表示されます。同様のQRコードは 撮影した写真の右下にも入っているので、そのQR

コードを読み取ることでも写真を取り込めます。

以降のメニュー

GPXエクスポート、ナビに送るなどは他でも解説しているので割愛します。

ファイル→写真→写真一覧



ジャンプボタン

メイン画面に戻り、写真を撮影した座標にジャンプします。

詳細ボタン/写真表示

写真処理メニュー



写真(複数も可)のアドレスが入ったGPXファイルを 他のアプリに送ります。ファイル共有アプリに送った り、メールやメッセンジャー、LINEに添付して仲間 に送ることも出来ます。相手がGPXファイルを読む とジオグラフィカに取り込まれ、地図上にアイコンが 表示されます。

個人ストレージにアップロード

上記と同じ内容のGPXファイルを個人ストレージにアップロードします。個人ストレージに アップロードしたファイルは共有リンクや共有QRコードで不特定多数のユーザーに共有出 来るので、複数の写真をまとめて多数のユーザーに渡すことが出来ます。

グループクラウドにアップロード

上記と同じ内容のGPXファイルをグループにアップロードします。グループ内のメンバーに まとめて写真を共有したい時に便利な機能です。

写真機能の細かい仕様

気になる方だけ読んでください。知らなくても使用上は困りません。

クラウドでの写真の扱い、ファイルの所在

撮影した写真は、バックグラウンドでジオグラフィカクラウドへ送信されます。同じアカウント で複数の端末(スマホやタブレット)にログインしている場合は、それら端末で写真が同期さ れます。

クラウド上の写真は、アクセス権限的には「ジオグラフィカクラウドのユーザーなら読み取れ る」という設定になっています。それじゃ簡単に誰でも表示出来ると思うかも知れません が、ファイル名がユニークで長いため、それを推測してアクセスすることはほぼ不可能で す。Youtubeなどで言う『限定リンク』の状態です。ファイル名がアクセスキーの役割を果た します。

グループクラウドのグループデータリンクを使っている場合は、撮影時や撮影後に写真を グループに送ることが出来ます。正確には写真のアドレスデータを送っています。本体は 撮影した本人のクラウドにあります。

オフラインでの挙動

撮影した写真は、ジオグラフィカクラウドにアップロードされてはじめて共有できます。スマ ホ本体の中にあるだけでは共有できません。

写真の送信も受信も、当たり前ですがネット通信が必要です。オフラインの間はスタンドア ローンで動作し、通信が回復したら溜まっていた同期処理を行います。

機種変時の同期

機種変した場合は、新しい端末で同じアカウントでジオグラフィカクラウドにログインしてくだ さい。そうすれば撮影した写真が自動で同期されます。写真が多いと同期に時間が掛かり ます。

現在のところ自動で同期されるのは写真だけで、マーカーやトラックは自動では同期されません。バックアップファイルを作って新端末で読み込むという操作が必要です。

グループは複数のユーザーで作り、グループ内で各種データのリアルタイム共有を行う機 能です。メッセージ、位置情報、写真、共有マーカー、ファイルを共有できます。グループを 使うにはまず、自分で新しくグループを作るか、既存のグループに参加してグループのメン バーになる必要があります。

グループに参加する方法

- 自分でグループを作る
- 既存のグループに参加リクエストを送って管理者に許可してもらう



上記2つの方法のどちらを使う場合でも、まずはメ ニュー→クラウド→グループで、グループー覧を開 きます。

グループへの参加とグループ管理



新しいグループを作る



新しいグループを作ります。グループ名、 参加者を受け付けるか、検索可能にする かを設定します。グループ名は後で変更 できないのでよく考えて付けて下さい。グ ループ名も個人のニックネーム同様重複 できません。

リクエスト可能にすると他のユーザーがグループに参加リクエストを送ることが出来ます。 検索可能にすると、後述するグループ検索機能でグループ名を入力して検索して参加リク エストを送ることが出来ます。リクエストの可否と検索の可否は、後でグループ設定から変 更できます。

グループを探して参加する

正確にグループ名を入力して	て下さい。
Q 1/2	0
グループ一覧	
リク 2022-02-04 00:00:00	参加済み
リクエ 2022-02-01 00:00:00	参加
リクエ 2022-07-16 20:44:15	参加済み

参加したいグループがあり、グループが検索可能に設定 されているのなら、グループ名で検索して参加リクエスト を送れます。グループ名は出来るだけ正確に入力して、 間違えないようにして下さい。

見つかったら「参加ボタン」を押して下さい。参加リクエス トを送ります。

参加リクエストをグループ管理者が許可することで参加 出来ます。 QRコードを読んで参加する

既にグループに参加しているユーザーが近くにいるのなら、参加リクエスト用のQRコードを 見せてもらって、参加したい人がQRコードを読み込むことでリクエストを送れます。

1. 参加済みのユーザーは、グループー覧の右にあるメニューボタン を押してください。



3. リクエストの許可



除』をしてください。知らない人からのリクエストは削除しても構いません。

グループは山仲間、山岳会や山岳部のメンバー、友人、家族、捜索チームなど 近密な関係で作ることを想定しています。

信用できない不特定多数でのグループ利用は、個人情報が流出する可能性があるためお すすめしません。

管理者が使えるグループメニューの処理



グループ設定 グループの名前は変更できません。 グループ名 たんぽぽ山の組 リクエスト可能 () 検索可能 グループー覧のメニューから管理者が行え るのは下記の処理です。ここまでで説明して いない『メンバーー覧』『グループ設定』『グ ループの削除』の説明をします。

メンバー一覧

そのまま、メンバーの一覧を表示します。各 行の右にあるゴミ箱ボタンを押すと、グルー プからメンバーを脱退させることが出来ま す。ただし創設者は脱退させることが出来ま せん。

グループの設定

07

そのグループに参加リクエストを送れるかど うか、グループ検索で表示されるかどうかを 変更できます。もうメンバーを追加したくない 場合はリクエスト可能をオフにして下さい。

リクエストは受け付けるけど、検索で不特定 対数の人がリクエストを送ってくるのを防ぎ
たい場合は検索可能をオフにして下さい。検索不可にした場合は、QRコードでのリクエスト 送信のみ可能になります。

グループの削除

自分以外のメンバーを全員脱退させたあとで可能になります。グループの全データが削除 されます。創設者以外のメンバーが残っているグループは削除できません。

エラー グループの参加者があなた以外にいます。 削除できません。自分以外のメンバーを削 除してください。	おくたま組 2022-08-02 15:30:00 たんぽぽ 2022-06-0 削除するグループ名[おくたま ふくろう 2022-02-1 押してください。 タイムライン (三) 第 (三) (三) (三) (三) (三) (三) (三) (三)
ОК	

間違って削除しないように、削除の確認としてグループ名を正確に入力する必要 があります。

参加者が使えるグループメニューの処理

グループー覧のメニューから参加者が行えるのは『メンバーー覧(一覧表示だけ)』『グルー プから脱退』『参加QRコードを表示』のみです。

グループ内でのデータ共有

グループ機能を使うと、ファイル(トラックログ、マーカーセット、ルート)、位置情報、メッセージ、共有マーカーをグループ内で共有できます。共有方法は「手動」と「データリンク」の2種類があります。

下記では、それらの共有方法について説明します。

グループへのファイル送信と利用

グループクラウドの機能では比較的簡単なファイル共有から説明します。基本的には、個 人ストレージのファイル共有と変わりません。

共有できるファイルは、トラックログ、マーカーセット、ルート、写真GPXの4種類で、バック アップファイルはグループにはアップロードできません。なぜなら、バックアップファイルは 個人情報を含みすぎるため、グループで共有するのは情報保護の点で危険だからです(あ と、容量も大きいので)。

アップロード手順



アップロード方法は個人ストレージの場合と 同じで、それぞれの一覧(例えばトラック一覧 など)でチェックを入れ、処理メニューの下の 方にある「グループクラウドにアップロード」を 選びます。 グループを選ぶメニューが表示されるので、アップロードしたいグループを選んで下さい。 確認が出るので、「はい」を押せばアップロードされます。



グループにアップロードしたファイルはグループメンバーがダウンロードできるようになります。アップロードしてよいファイルなのかよく確認しましょう。

グループにアップロードされたファイルの利用





上に並んでいるアイコンの一番右がファイ ルのアイコンです。これをタップすると、 アップロードされたファイルが表示されま す

個人ストレージは種類ごとに分けています が、グループは種類問わずアップロード日 付の降順(新しい順)で並んでいます。必 要なデータは右にあるメニューボタンを押 してダウンロードしてください。



メンバーが一通りダウンロードして共有する 必要がなくなったなら削除しても構いませ ん。削除できるのはアップロードしたユー ザー(オーナー)だけです。 グループへの位置情報送信(手動の場合)

ジオグラフィカクラウドにログインしている場合、座標バナーを長押しして出てくる現在地共有メニューに「グループを選んで現在地を共有する」が出てきます。



グループへのメッセージ送信



「クラウド→グループ→タイムライン」でメッ セージタブを開くと左のようにグループ内の メッセージが表示されます。上部にある入力 欄にメッセージを入力して送信ボタンを押す と、グループにメッセージが送信されます。 メンバーが同じ画面を開いていればメッセージを受信できます。後述のグループデータリン クを使うと、アプリがバックグラウンドでもメッセージを受信できます。

グループデータリンク

グループで共有されたデータをリアルタイムに反映、表示する機能です。リアルタイムでの 共有には通信が繋がっている必要があります。オフラインの場合はオンラインに復帰したと き自動で同期されます。



グループを選ぶとデータリンクが開始されま

す。

おくたま徘徊会

キャンセル

グループデータリンクのコントロールパネル



データリンク中はグループボタンが緑 色になります。このボタンを押すと、 データリンクのコントロールパネルが 表示されます。

コントロールパネルの上部にはデータ種別の切り替えボタンが4つ並んでいます。タブみた いなものだと思ってください。



左から、メッセージ、位置情報、写真、 マーカー、ファイルなどで、グループで 共有された各種データにアクセスでき ます。 コントロールパネル下部のボタンは、 左がデータリンクの停止ボタン。右にコ ントロールを閉じるボタンがあります。 真ん中のボタンは、表示しているデー タの種別で変わります。

この画像では、メッセージのリストを表

示しているので真ん中のボタンは『メッセージ送信ボタン』になってます。

▶メッセージ機能



テキストメッセージの送信と受信が出来ます。デー タリンク中且つトラックの記録中にメッセージを受信 すると音声で読み上げられます。

メッセージを送る



データリンクコントロールパネルでメッセージを表示 しているとき、下部にあるメッセージボタンを押す と、入力用のコントロールパネルが表示されます。 ここに入力して送信するとグループのメンバーに配 信されます。

位置共有

データリンク中にトラックログを記録すると、設定された間隔でグループに位置情報を送信

します。



自動位置送信設定

送信する間隔は[設定]→[クラウド]→[グループクラウ ド]→[現在地送信間隔]で指定します。登山の場合は 3分でよいでしょう。30秒など短くすると登山ではバッ テリー消費が多くなる可能性があります。また、1日 に送れる回数は最大で600回なので10時間で限界に達してしまいます。3分ごとなら24時 間もちます。



左の画像の、青とオレンジの矢印がグ ループメンバーの最新位置です。矢印 にニックネームの頭文字が書かれてい ます。矢印の上は日付で、下に時刻が 表示されます。 矢印の色は、グループクラウド設定の個 人テーマカラーです。

現在地の送信間隔は条件によって粗くなります

グループクラウド設定の現在地送信間隔を1分にすれば1分ごとに現在地の座標を送信し ます。ただし、オフライン(圏外や機内モード、SIMなし)の場合は10分未満を指定しても10 分ごとの送信になります。オフラインの時は現在地を他人に知らせることが出来ず、細かく 送っても意味がないからです。通信による電池消費を減らすために送信間隔を広げます (表示されるメンバーの軌跡は粗くなります)。

また、10m以上移動していない場合は送信間隔の時間になっても位置を送信しません。指 定時間の経過(オフライン時は最低で10分の経過)と10m以上の移動が位置情報の送信 条件となっています。

送信側がオンラインで細かく位置を送った場合でも、誰もそれを受信していなければクラウ ドには10分ごとの位置情報だけが残ります。メンバーの現在地は最新の位置だけが重要 で、途中経過はそれほど重要ではないためです。データ量を抑えるためこの様な仕様に なっています。メンバーの正確なトラックが欲しかったら、GPXエクスポートなどでトラックを もらってください。

共有された位置情報の見方



データリンクコントロールパネルで位置情 報の欄を見ると、位置情報を送ってきた メンバーがリスト表示されます。位置情報 は過去1ヶ月分を見ることが出来て、期 間は下部の表示期間設定ボタンから変 更できます。ここで指定した分の位置情 報がリストとメイン画面の地図上に表示 されます。

メンバー名の右端にある詳細ボタンを押

すと個人の位置情報履歴に入ります。位置情報が新しい順に並んでいて、記録日時と送 信成功日時が表示されます。



左の「CR:」が記録日時で、右の「UL:」が送信成 功日時です。これらがほぼ同じであれば、記録し てすぐクラウドに書き込まれたのでオンラインだっ たと分かります。この時刻が大きくズレている場 合はオフラインだったということになります。 各行をタップすると、共有された位置の地図が画 面中央に表示されます。



リスト最上部の『<<メンバーー覧に戻る』をタップすると、メンバーー覧に戻ります。同じ 行の右にある『保存』をタップすると、メンバーの移動履歴をトラックログとして保存すること が出来ます。

◙写真



共有された写真が新しい順にリスト表示 されます。各行をタップすると撮影地点 にジャンプしつつ、写真を表示します。

😑 メニューボタン

各行の右にあるメニューボタンを押すと メニューが表示されます。内容はメイン 画面上の写真アイコンを長押ししたとき と同じです。





マーカー作成時、または編集画面でグルー プに共有したマーカーは、グループ内で即 座に共有され、受信側でなにも操作せずに メイン画面に表示されます。共有の送信と 受信には、グループデータリンクを稼働させ ておく必要があります。



共有マーカーはグループコントロールパネ ルのマーカーリストで新しい順に表示され ます。各行をタップすると、そのマーカーが メイン画面の中央に表示されます。 共有マーカーはアイコンの上に「G*グルー プ名」と表示されます。タップすると表示さ れるポップアップの上部にはグループ名と 所有者が表示されます。



共有マーカーの削除や変更

共有マーカーを削除や編集したい場合は、メイン画面上のマーカーを長押ししてメニューを 出して、削除や編集を行ってください。

共有マーカーの所有者が削除や編集をするとグループ全体に影響を与えます。所有者以 外のメンバーが削除や編集をしても、変更されるのは自分のジオグラフィカ内だけで、他の メンバーには影響しません。

60ファイル

ファイルリストを表示すると、グループ内で共有されているファイルの一覧が表示されま す。[ファイル]→[トラック、マーカー、ルート、写真]などの処理メニューからグループにアップ ロードされたファイルです。カスタムマップと一括キャッシュはグループにアップロード出来 ません。

ファイルの種類

トラック、ルートはそのまんまです。ジオグラフィカ内の意味と同じです。



マーカーセット
 複数のマーカーが1つのGPXファイル
 にまとめて入っているものです。マー
 カー1つだけなら共有マーカーでいい
 のですが、数十や数百など、数が多い
 場合はマーカーセットのGPXファイル
 にした方が扱いが簡単になります。
 マーカーセットでインポートしたマー
 カーは、メンバー各自が削除や編集可
 能で、他のユーザーには影響しませ

 \mathcal{h}_{\circ}

0

写真GPX

マーカーセットと似ていて、複数の写真情報(写真のアドレスなど)が入ったGPXファイルで す。ファイル名は日付 所有者 pics.gpxとなっています。



~ 猿橋駅→九鬼山→鳥沢駅	1.000
ダウンロード	
削除	
	1

各行の右にあるメニューボタンを押すとメ ニューが表示されます。 ダウンロード 該当ファイルをダウンロードしてインポー トします。

削除

所有者のみファイルの削除が可能です。

クラウド関係の設定



グループクラウド

個人テーマカラー(初期設定:ランダム)

位置情報の共有や写真アイコンの枠などで使われる色を設定します。28種類から選んでく ださい。初期設定は、アカウントを作った際に自動で選択されます。

リンク中に自動で現在地送信(推奨:オン)

データリンク中かつトラックログを記録している間、下の送信間隔で設定した間隔で現在地 をグループに送信します。1日に送れる回数は600回までです。

現在地送信間隔(推奨:3分)

登山なら3分でよいでしょう。トレランなど移動が速い場合は1分がいいかも知れません。1 分だと最大で10時間まで送れます。ただし機能制限解除をしていない場合は5分より短い 設定はできません。

メンバートラック描画(初期設定:オン)

グループメンバーの移動履歴も見たいならオンにしてください。最新の位置が分かればい いだけならオフにします。

メンバートラック描画期間

現在を基準に、どの程度過去までの移動履歴を読み込み、表示するかを設定します。過 去の履歴をどう扱うかという、考え方や運用によって変化します。



隠蔽座標

例えば住んでいる家の場所など、グループメ ンバーに送りたくない場所があるなら隠蔽座 標を設定します。指定座標の半径1kmで座標 送信を行わなくなります。

設定方法

メイン画面で設定したい場所にセンターマークを合わせて長押しし、メニューから『この地点 をデータリンクの隠蔽座標に設定する』を選んでください。設定する地点は、本当の家の位 置から少しズレた場所がオススメです。

データリンク読み上げ(バックグラウンド)



グループデータリンク中でかつ、トラックを記録しているとジオグラフィカはスマホがスリープ 中でもバックグラウンドでも動作します。その間にデータリンクでなんらかの更新があった 場合、ここで設定した内容について音声でお知らせします。位置更新をオンにするとまぁ まぁうるさいので、メッセージ、共有マーカー更新、共有ファイル更新をオンにするとよいで しょう。 クラウド機能の制限

ジオグラフィカクラウドの機能にはいくつかの制限があります。クラウドの使用量は運営費用に直結するためです。制限は今後変わる可能性があります。

ジオグラフィカ無課金状態

- 個人ストレージに保存できるデータ合計容量は10MBまで。
- 参加できるグループの数は3つまでです。
- 1日に登録できる写真の枚数は8枚までです。
- 位置送信間隔は5分に固定されます。

ジオグラフィカ課金済み

- 個人ストレージに保存できるデータ合計容量は100MBまで。
- 参加できるグループの数は10までです。
- 1日に登録できる写真の枚数は32枚までです。

グループの制限(課金状態は関係ありません)

- 1つのグループに参加できるメンバーは36名までです。
- グループにアップロードできるファイルの合計容量は10MBまでです。
- グループに1日で送れる位置情報送信回数は600回までです。

ジオグラフィカクラウドの注意点

 個人ストレージにアップロードされたデータはファイル名が漏れない限り自分だけが 見られます。ファイル名が漏れた場合とアカウントへの不正ログイン以外で外部に 漏れることはありません。

- グループクラウド内にアップロードされたデータは、グループメンバーなら読み取る ことが出来ます。顔見知りを超える不特定なメンバーでのグループ作成はおすすめ しません。
- 個人ストレージ、グループクラウドともに不正ログインをすればデータを読み書き出 来てしまいます。ログインID(メールアドレス)とパスワードは漏れないよう厳重に管 理して下さい。
- ジオグラフィカ開発者は、ユーザー登録したユーザーのログインID(メールアドレス)
 を知ることは出来ますがパスワードは分かりません。パスワードを忘れた場合はロ グイン画面の「パスワードを忘れた」から再設定してください。開発者に聞かれても 調べることは出来ません。
- ジオグラフィカクラウドの挙動を理解していないと正しく使うことは出来ません。よく
 理解してお使い下さい。
- ジオグラフィカクラウドは自由度を高く設定しています。運用方法はグループによっ て変わると思います。簡単な共有や短時間の試用を行い、メンバー間で運用方法 を決めて下さい。運用マニュアルを作って、グループ内で使い方を統一するとよい でしょう。でないと、おそらく共有マーカーやファイルの扱いで揉めます。こちらの想 定で作った運用マニュアルを書きました。QRコードを読んで、運用方法や設定の参 考にしてください↓



■その他の情報

登山にスマホを使うときの注意点

GPS機能はバッテリーを消費します

トラックの記録中は、スマホがスリープしていてもGPSが動きバッテリーを消費します。目 安としては、機内モードでトラックログを記録すると1時間に100mAh程度消費します。バッ テリー容量が2,000mAhのスマホなら20時間分です。

バッテリー切れに備えて必ずモバイルバッテリーと充電コードを持ってください。

10,000mAh程度の容量のものが汎用的で便利です。充電忘れ、ケーブル忘れ、ケーブル の断線に注意してください。

おすすめのモバイルバッテリーはコチラ→



壊さないよう気をつけましょう

ー般的にスマホはそんなに頑丈ではありません。登山で使うならケース、カバーガラス、ス トラップなどで防護した方が安心です。防水(耐水)でない機種は防水ケースやジップロック で対策してください。

防水性能は機種によって違いますし、耐水圧を越える推進や噴流(滝など)に晒されれば 壊れます。過信せず、過度に水没させないようにしましょう。コネクタに水が入ると、壊れず とも乾くまで充電できなくなります。コネクタにテープを貼ったりゴムの蓋をしたり、沢登りや 悪天候で使うのなら浸水対策をしてください。

冬は寒さ対策が必要です

厳冬期は下記のような対策をしてください。

- ミドルウェアのポケットに入れて保温する。出来るだけ外気に晒さない。
- 写真は連写せず1枚撮ったら休ませる。

- バッテリー残量は多めに保つ。少なくとも朝イチで100%にしておく。
- もし電源が落ちたら慌てず騒がずモバイルバッテリーで充電する。
- 冬の操作はタッチペンが便利。紐を付けてストラップに連結する。

谷や沢では精度が下がります

GPSは衛星からの信号を受信して測位します。空が広く見えない場所では測位に使える 衛星が減るので精度が下がります。広場、尾根、山頂など空が広く見える場所なら精度が 高くなります。屋内や地下ではGPS衛星での測位はできません(大雑把な位置しかわかり ません)。

安全な場所で立ち止まって使いましょう

山での歩きスマホは危険です。落石や滑落、雪崩などの心配がない安全な場所で立ち止まって操作してください。

過信しないでください

GPSは測位精度が下がることがあります。地形図の登山道は実際と違うことがあります。 スマホは電池切れや故障のリスクがあります。GPSは『現在地を教えてくれるだけの道具』 です。正しく使うには読図の知識が必要ですし、困難な道を歩く技術や体力も必要です。 GPSはあなたの登山スキルを上げません。身の丈にあった登山をしてください。

測位精度が悪いときの対処法

現在地が表示されない、トラックログが記録されないときは下記内容を確認してください。 iPhone、Android共通

• 本体の設定の『位置情報サービス』がオンになっているか確認してください。

- ・ 位置情報の使用許可はアプリごとにも必要です。本体設定の[プライバシー]→[位置情報]などから許可されているか確認してください。
- ジオグラフィカのメイン画面を開いたまま待ち、現在地ボタンを長押しして緑にしてください。正常ならしばらく待つと現在地が表示されます。現在地が表示されたら現在地ボタンを押して黄色に戻してください。
- GPS衛星からの信号は空が広く見えないと受信出来ません。空が広く見える屋外で使ってください。地下や屋内では正確な位置は測位できません。
- 谷底やビル街では位置情報に誤差が出ます。誤差は諦めてください。
- 調子が悪いときは位置情報サービスをオン/オフしてください。
- 測位には時間が掛かる事があります。画面を開いたまま待ってください。
- 本体を再起動してみてください。
- 何をやっても改善しない場合は本体が故障している可能性もあります。メーカーにお問い合わせください。

Androidのみ

- 位置情報サービスの位置情報モードが『高精度』になっているか確認してください。
 ただし、Androidのバージョンや機種によってはこの設定はありません。
- GPS Status & Toolboxをインストールして起動し、屋外で測位してください。4機以上の衛星を捉え、測位できたらジオグラフィカを起動してください。インストールはコチラ→ <u>https://goo.gl/GGtfwE</u>
- GooglePlay開発者サービスのキャッシュとデータをクリアしてください([本体の設定]→[アプリ]→[GooglePlay開発者サービス]→[ストレージ])。



GooglePlayストアのキャッシュ、データをクリアしてください([本体の設定]→[アプリ]
 →[GooglePlayストア] →[ストレージ])。

- GooglePlay開発者サービスの初期化をしてみてください。詳しい手順はコチラ→ https://goo.gl/gZvHKG
- ここまでで改善しない時は、ジオグラフィカの一般設定のGPS精度を『高頻度』にしてジオグラフィカを再起動後、測位出来るか確認してください。変化がない場合は 『標準』で使ってください。

上記内容を確認、試行しても改善しない時は本体の故障の可能性があります。携帯ショッ プやスマホメーカーにお問い合わせください。故障でもないなら、ジオグラフィカとスマホの 相性が悪いのかも知れません。他のアプリを使ってください。

スマホでのGPS精度は機種の性能に依存します。アプリの性能ではありません。高精度で 測位したいのであれば、iPhoneやXPERIAなど高精度で測位できるスマホを選んでくださ い。

よくある質問と回答

インストール

Q.料金は掛かりますか?

A.インストールと試用は無料で出来ます。もし気に入ったらアプリ内課金で『機能制限解除』をご購入ください。課金は1回だけでずっと使えます。月額ではありません。

Q.iPhone版とAndroid版は別々にアプリ内課金を買わないといけないのですか? A.AppleとGoogleは別の会社なので課金情報を共有できません。別々にお支払いください。アプリの見た目は同じですが中身はかなり違います。それぞれ開発にはコストが掛かっています。ご理解いただければ幸いです。 Q.無料の状態でも使えますか?

A.トラックの記録回数に制限がありますので、トラックログを20回以上残したい場合は原則 的に課金が必要です。あとはいくつか制限がありますが、無料状態でも山奥で現在地と地 図を表示することは出来ます。道迷い遭難防止に役立ててください。

音について

Q.鳥の鳴き声がするけど?

A.トラックログを記録したときに、動作しているか確認するために音を鳴らしています。音の 種類は[設定]→[トラック]→[記録音]で変更できますし、無音にもできます。音量はスマホ本 体の音量ボタンで調整してください。

Q.いろいろしゃべるのを黙らせたい

A.スピーチ設定の接近報告、インターバルスピーチ、シェイクスピーチをオフ、一番下の 『お知らせ』をオフ、ルート設定の到着アラームを『音声』以外にすれば黙ります。

Q.下山中にスピーチ機能が何度もしゃべってうるさい

A.シェイクスピーチがオンだと、下山時の衝撃でしゃべってしまうことがあります。ザックの 雨蓋にスマホを入れておくとよくしゃべります。あまり揺れない上着のポケットに入れるか、 下山時はスピーチ設定でシェイクスピーチをオフにしてください。

Q.スピーチ機能がしゃべらない

A.スマホの音量を確認してください。Androidは音量の項目が複数あります。メディアの音量を上げてください(Aquosはエモパー)。

Androidは音声エンジンの設定が英語など、日本語でしゃべれないものになっていることが あります。言語設定(『言語と文字入力→テキスト読み上げ』など)を確認してください。

地図関連

Q.地図のダウンロードが遅い、表示が遅い

A.通信速度やスマホの処理能力により地図の表示が遅くなることがあります。しばらくその ままお待ちください。また、Open Street Map系は表示に時間が掛かります(サーバーの距 離とか処理能力の問題)。日本国内で使う場合は地理院地図や陰影起伏図をお使い下さ い。「メニュー]→「地図」、または「メニュー]→「オーバーレイ」で変更できます。

Q.範囲指定して地図をダウンロードする機能はあるのか?

A.[メニュー]→[ツール]→[ー括キャッシュ]で範囲を指定して地図をダウンロードできます。

Q.一括キャッシュでダウンロードした地図はどう使うのか?

A.キャッシュは表示キャッシュも一括キャッシュも、ダウンロードしたらあとは地図表示プロ グラムが必要に応じて自動で利用します。ユーザーはなにも気にする必要ありません。自 動でいい感じに使用されます。

Q.地図をキャッシュしようとしても表示されない

A.携帯ネットワークやWifiネットワークに繋がっているか確認してください。本体の設定の アプリでジオグラフィカのモバイルデータ通信が許可されているか確認してください。国外 の地図を使いたい場合は地図の種類を『Open Street Map』や『Open Topo Map』などに してください。

Q.山奥で地図が表示されない

A.ジオグラフィカは『キャッシュ型オフラインGPSアプリ』です。地図データは一度画面に表示させてキャッシュ(保存)する必要があります。山行前に予定ルートの地図を画面に表示

してキャッシュしてください。キャッシュした地図は携帯圏外でも表示出来ます。等高線が見 える詳細地図と、山域全体の広域地図の両方をキャッシュしてください。『一度表示した地 図が保存される=一度も表示していない地図は保存されない』ということです。地図が表示 されなくなったりモザイク状になるのは、キャッシュを正しく十分に行えていないのが原因で す。

Q.地図のキャッシュが勝手に消える

A.表示キャッシュは一定の期間(1ヶ月程度)や容量によって自動で削除されます。またスト レージ容量の空きが少ない場合はOSが削除することもあります。Androidは容量を超えて いなくても端末クリーナーアプリなどによって削除される事があります。クリーナーの対象 からジオグラフィカを除外し、スマホのストレージ容量には空きを作っておいてください。

Q.目的の山を探すのが大変です

A.画面上部の座標バナーを左にスライドすると検索画面が表れます。山名や地名で検索 して下さい。結果が表示されない場合は、近くの有名な山や地名で検索してください。

Q.海外で使いたい

A.海外で使う場合は地図メニューで地図の種類を『Open Street Map』や『Open TopoMap』にして、オーバーレイを『なし(チェックが付いている行をタップするとチェックが 外れます)』にしてください。

トラック関連

Q.トラックが粗い、カクカクする

A.ログの記録間隔は[メニュー]→[設定]→[トラック]→[記録間隔]で設定出来ます。最初は 『標準:普通』になっているので『標準:細』や『距離:10m』、『時間:10秒』などにしてくださ い。

Q.トラックログの精度が悪い

A.ログの精度はスマホ本体のGPS性能に依存します。高性能なスマホを使ってください (新しいもの、高価なものほど高性能です)。谷やビル街ではGPSの仕様により精度が落ち ます。谷地形の測位精度は諦めてください。

Q.トラックの記録が途中で飛ぶことがある。ログが記録されない、または途中で途絶える A.スマートフォンはバックグラウンドで動くアプリの動作を保証しません。フォアグラウンドア プリが最優先され、例えばカメラアプリで写真を撮ったりするとバックグラウンドアプリが強 制終了される事があります。

トラックの記録中に他のアプリを使ったら、一度ジオグラフィカの画面を確認してから歩きだしてください。

Androidは機種(古いスマホとか)によってはGPSサービスが停止することがあります。位置情報サービスをオン/オフすれば大抵の場合で直ります。

スマホ最適化アプリや本体の省電力設定でバックグラウンドアプリの動作が制限される場合があります。バッテリーの設定を確認してください。

HUAWEIのスマホなどでどうしてもスリープ中のログが残らない場合は、一般設定の『近接 センサーで画面を消灯』をオンにして、ジオグラフィカの画面を表示したままポケットに入れ てください。画面は消灯されますが、アプリはアクティブなままなのでトラックを記録できま す。しかし、それでも記録できない機種もあります。その場合はトラックの記録は諦めてくだ さい。

133

Q.トラックログを20回使ったら記録出来なくなりました。アプリ内課金を買うしかないでしょうか?

A.そういう機能制限ですので、出来れば購入してください。どうしてもお金を払いたくないの であれば、メイン画面の左下に出る赤い鍵ボタン を押して動画 を見てください。ト ラックの記録回数が1回増えます。

あとがき

ジオグラフィカの機能や使い方について、思いつく限りの情報をすべて書きました。ここま で多くの情報を書いても誰も読まないだろうと思い、これまでこのようなマニュアルを作って きませんでした。20ページ程度の簡易的な説明書と、開発当初は更新していたけど近年は 更新しなくなったアプリ内マニュアル、たまに動画を作ったり、Twitterで情報発信したり、散 発的な情報発信をしてきました。「ジオグラフィカを使いこなしてるのは自分だけかもな…」 と思ったりもしました。

しかし、中には熱心に使ってくださるユーザーもいるようですし、私よりも長時間ジオグラ フィカを使っているユーザーもいるのだと知る機会がありました。ならば一度すべてを書か なくてはいけないのかも...と気持ちを新たにして書いたのがこの教科書です。

ジオグラフィカは山岳ナビゲーションを楽にするために作ったアプリで、十分に使うために は地形図の読図やコンパスナビゲーションの知識が必要です。単に地図を表示させて現 在地を確認するだけのアプリではありません(それでもいいのですが、機能の10%程度で す)。読図について知らないのなら、是非読図の勉強をしてください。

読図やナビゲーションについて知り、ジオグラフィカの機能についてもよく理解すれば、必 ずあなたの登山を楽しく安全なものにします。ジオグラフィカはその様に作ってあります。た だし過信は禁物です。あくまでもスマホやジオグラフィカは道具に過ぎません。使ったからと 言って登山者としてのレベルが上がるわけではないのです。くれぐれも、ジオグラフィカや スマホに頼り切った登山は避けてください。道具は『使うもの』であって、『頼るもの』ではあ りません。

強気にならず、道具頼りの登山をしませんように...。登山は、あなたが自分の頭と体で行う、危険で楽しい遊びです。死なない範囲で楽しんでください。

135